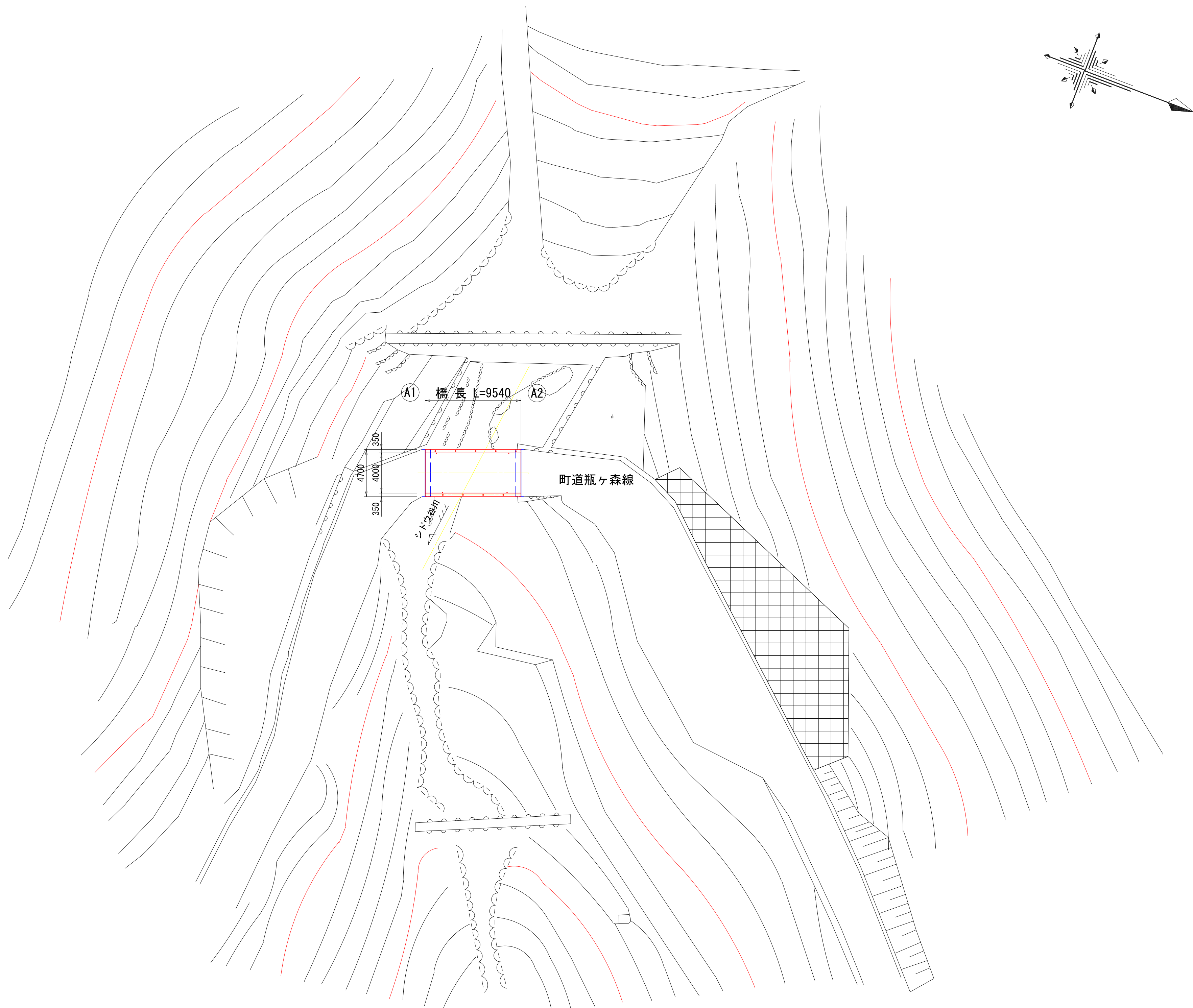


平 面 図

黒滝橋3号

S=1:250



注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

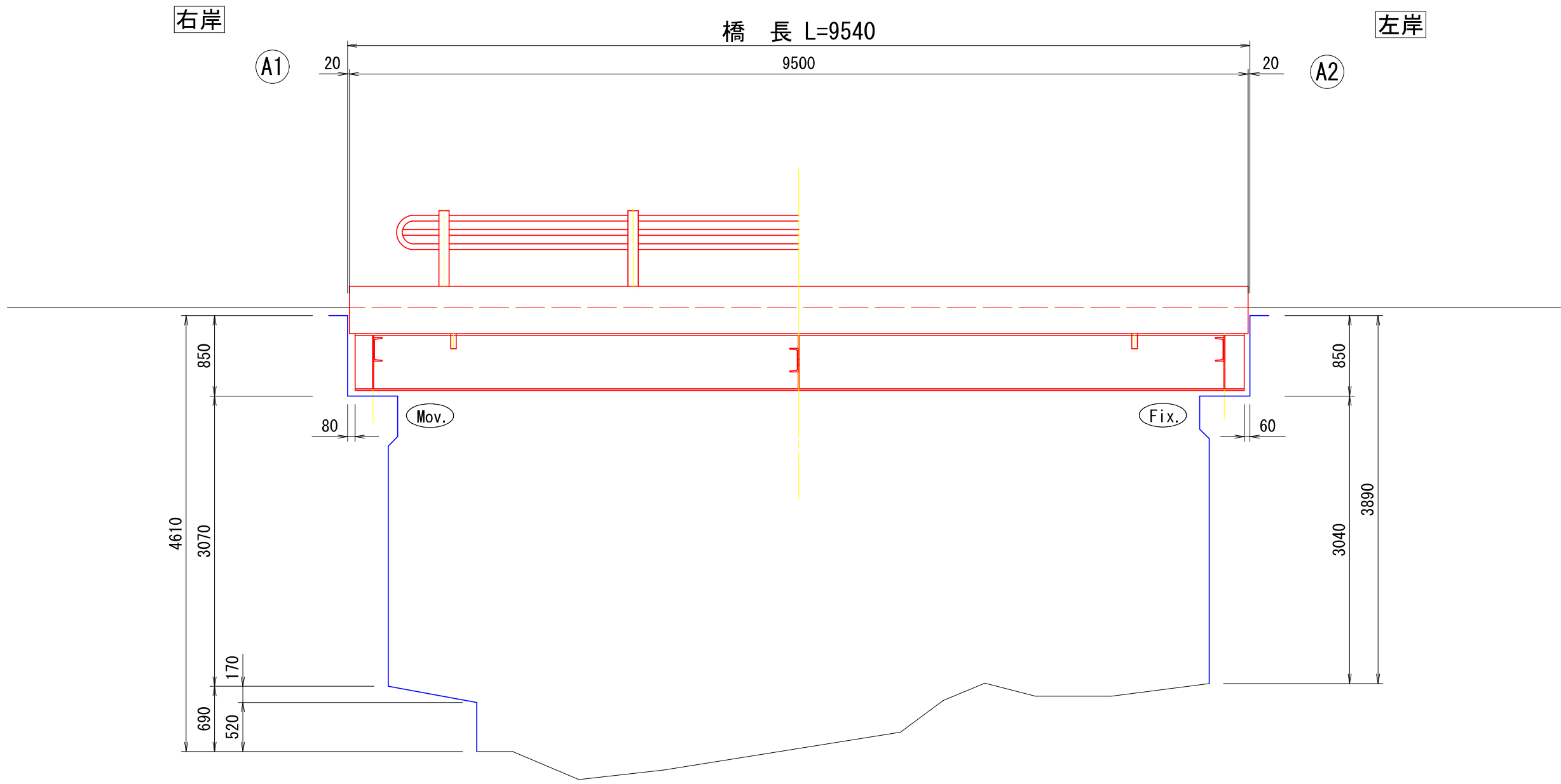
いの町			
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事		
	平面図	縮 尺	1:250
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)		
工事箇所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬		
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	1 11
事務所名			

既設橋一般図

黒滝橋3号

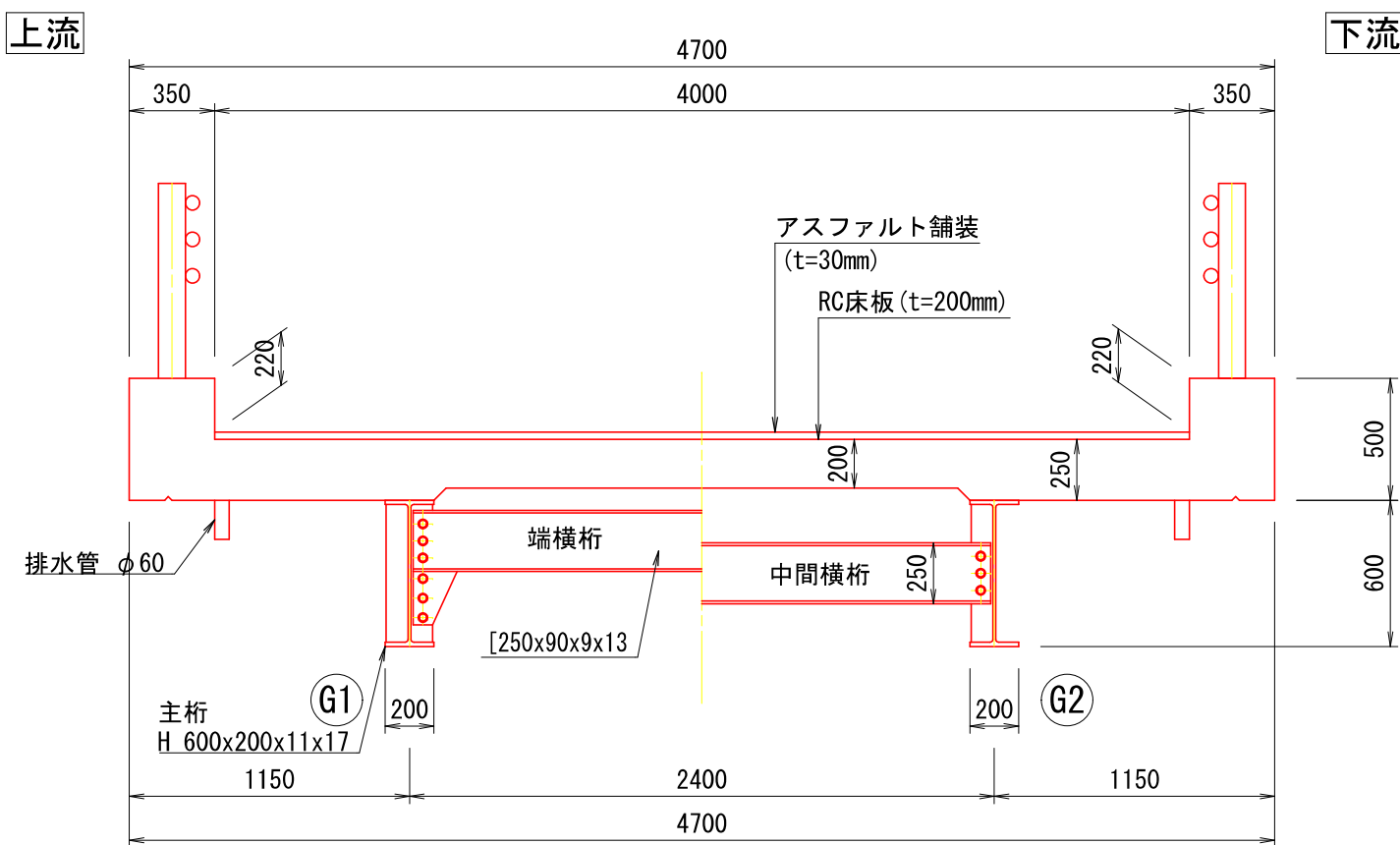
側面図

S=1:50



上部工断面図

S=1:30

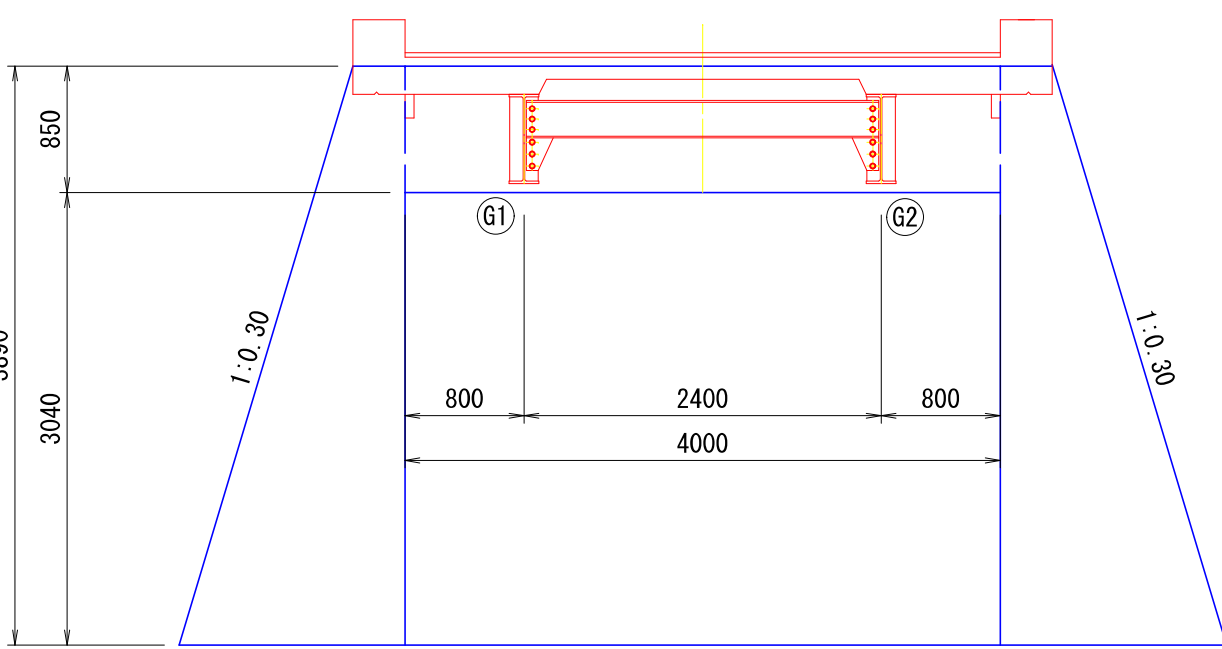
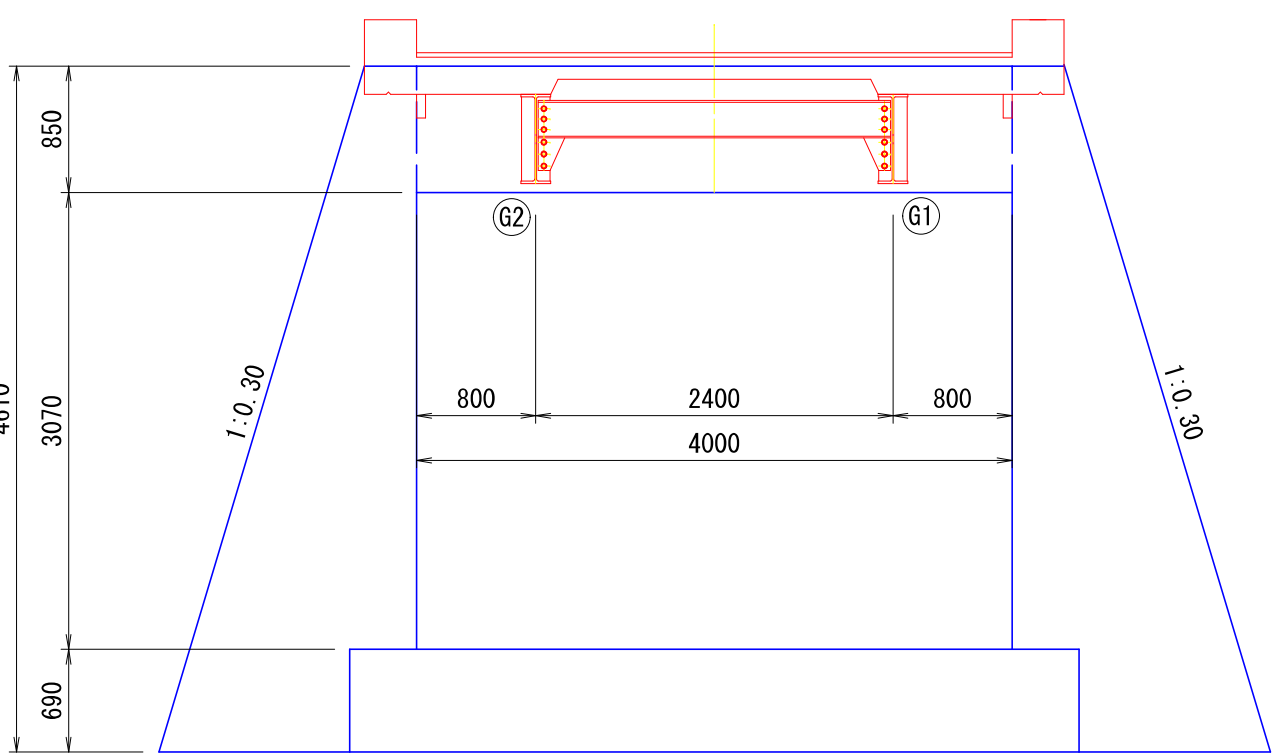


下部工正面図

S=1:50

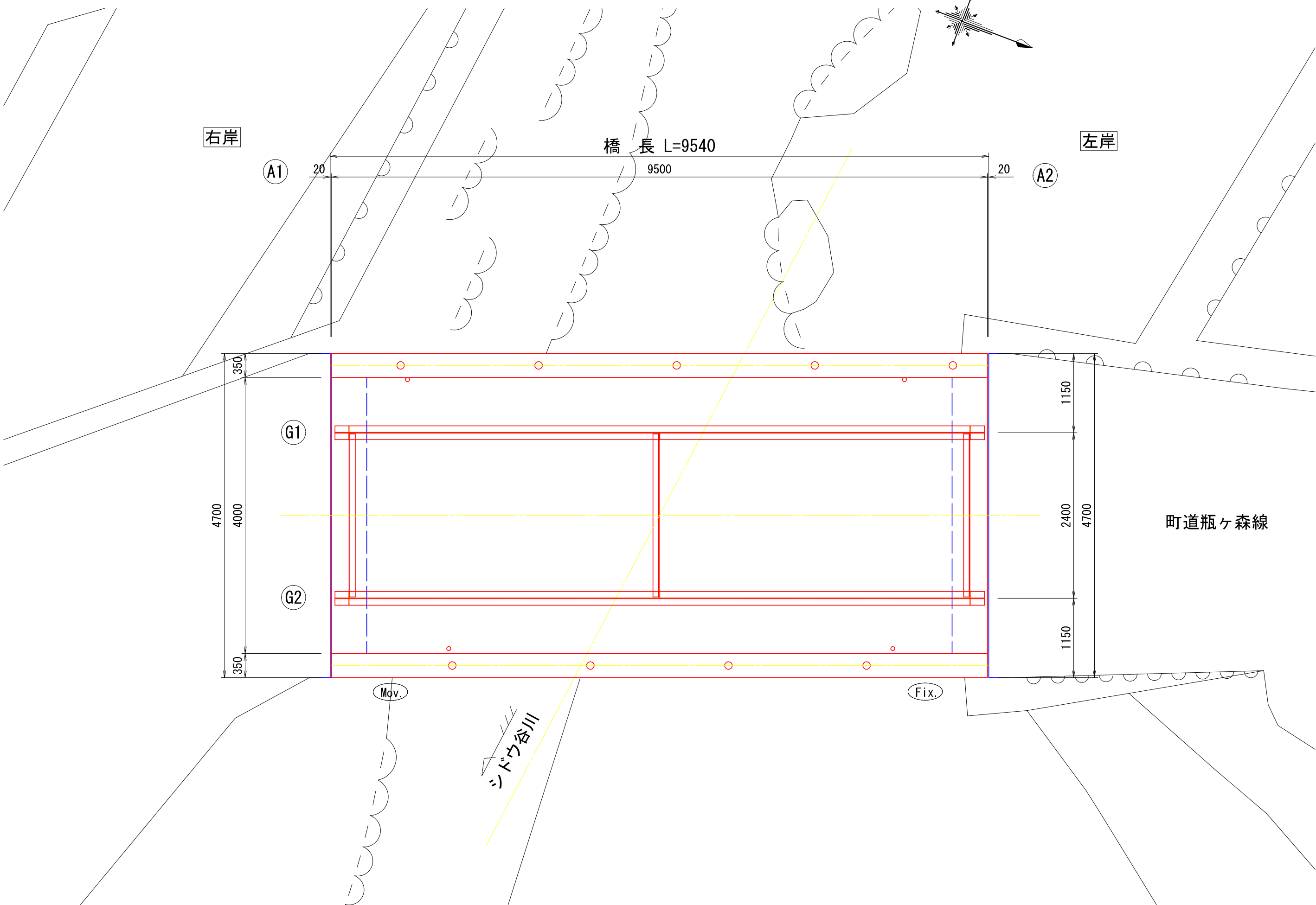
A1橋台

A2橋台



平面図

S=1:50



既設橋 設計条件 (推定)		
橋 種	道路橋	
橋 長	L=9.54m	
幅 員	車道幅員	W=4.00m
	歩道幅員	-
	合 計	W=4.00m
整 形 形 式	上 部 構 造	H形鋼
	下 部 構 造	A1橋台 逆T式橋台 A2橋台 逆T式橋台
設 計 荷 重	不明	
平 面 線 形	$\theta=90^\circ$	
補修・補強履歴	不明	
架 設 年 次	不明	
適 用 示 方 書	不明	

- 注記)
- ・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
 - ・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
 - ・ 渡河する河川はいの町管理である。
 - ・ 本地区は砂防指定地ではない。

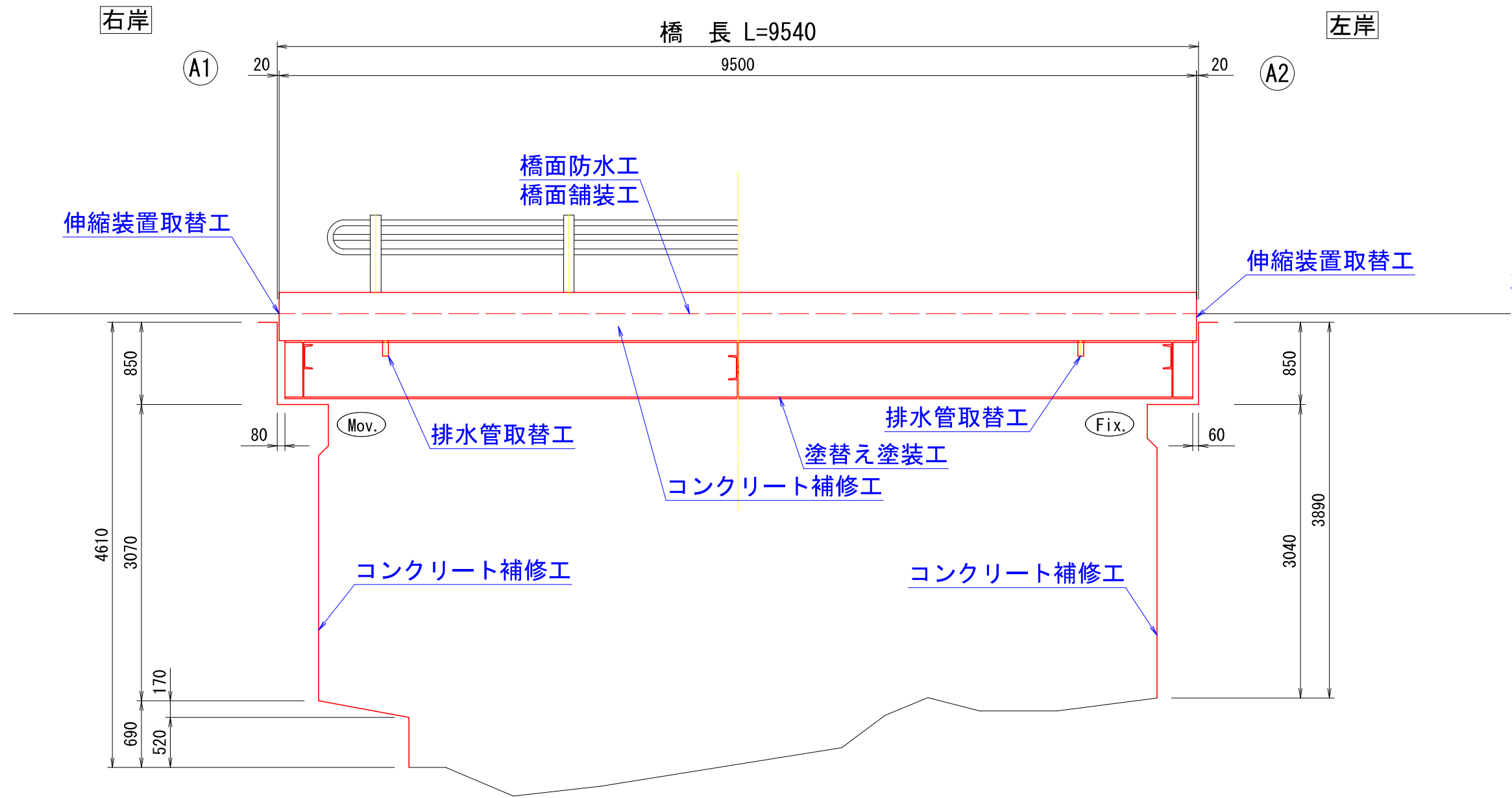
いの町			
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事		
図 面 名 称	既設橋一般図	縮 尺	図 示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)		
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬		
設 計 種 別			
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	2 11

橋 梁 補 修 工 一 般 図

黒滝橋3号

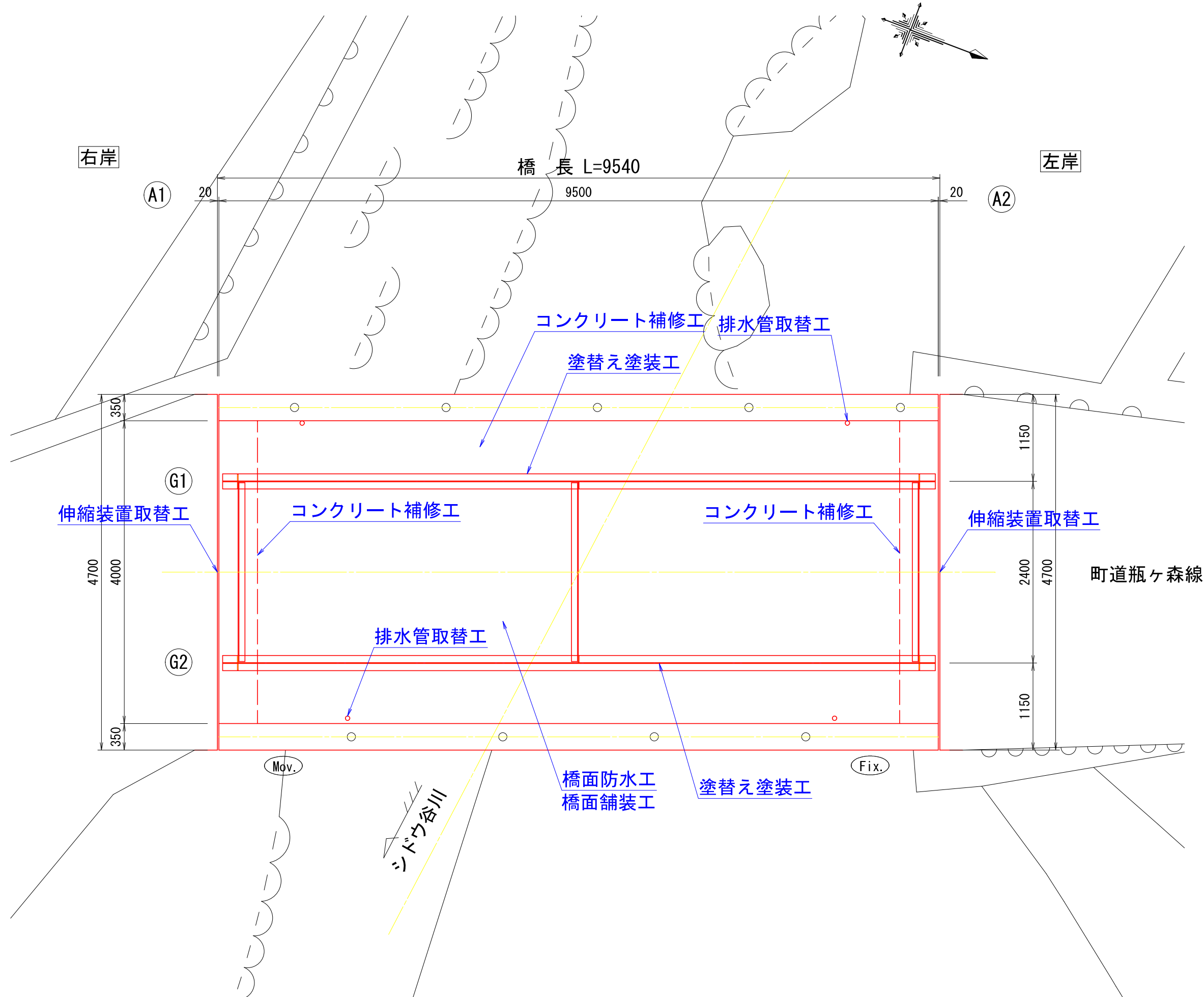
側 面 図

S=1:50



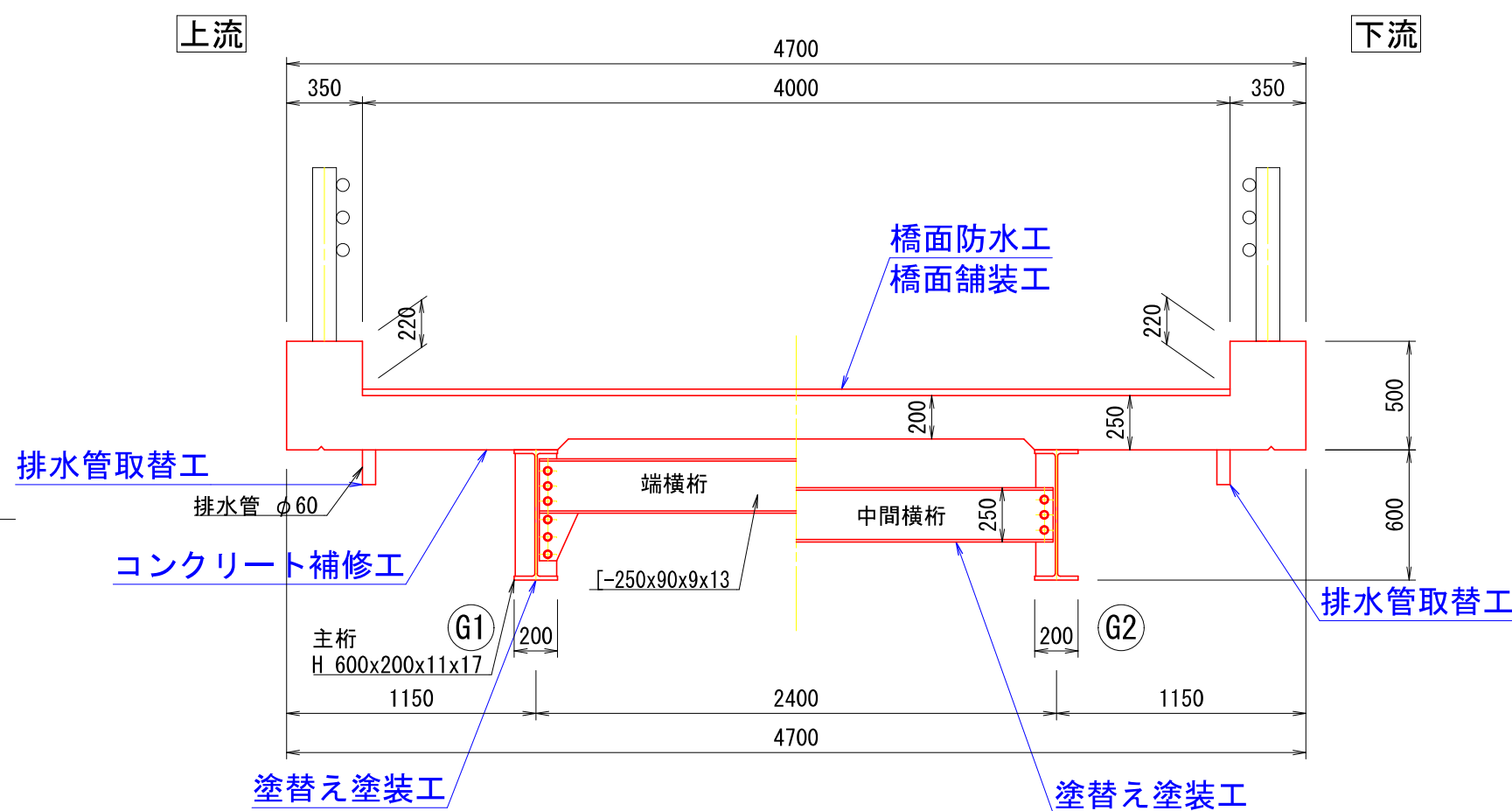
平 面 図

S=1:50



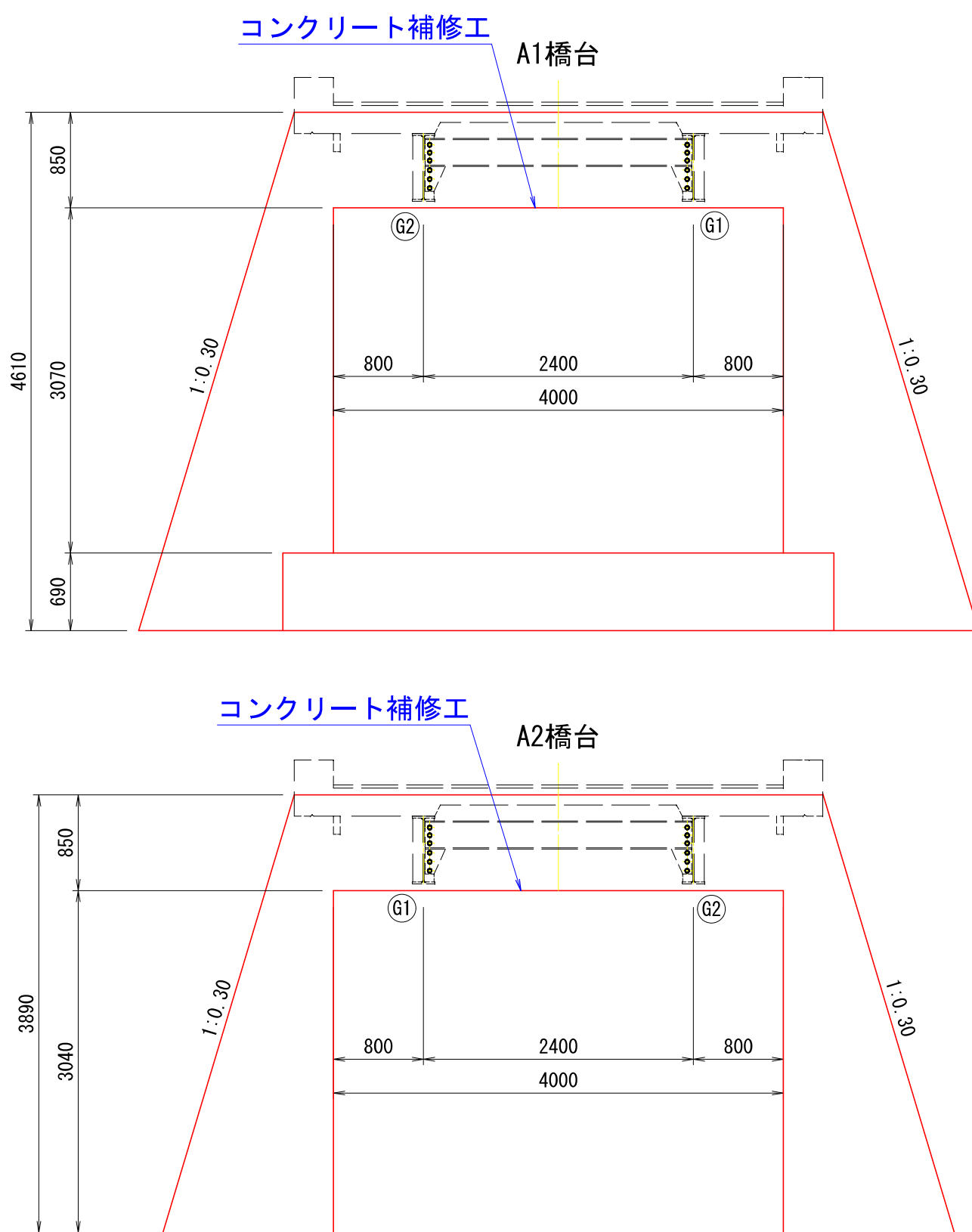
上部工断面図

S=1:30



下部工正面図

S=1:50



黒滝橋3号 コンクリート試験結果

項 目		単位	評価値 (80%)	RC床板				備 考
				下面		橋面		
				調査値	判定	調査値	判定	
圧縮強度		N/mm2	14.4	16.1	○	32.4	○	○:14.4以上
中性化	深 さ	mm		10.1		1.5		
	鉄筋鈍かぶり	mm		45.0		120.0		
	残り深さ	mm	10	34.9	○	118.5	○	○:10以上
	到達年数	年	100	990	○	326531	○	○:100以上
塩化物含有量試験		kg/m3	1.2	0.16	○	0.33	○	○:1.2以下

黒滝橋3号 塗膜調査結果

有害物質	単位	判定基準	試験値	判定	備 考
PCB	mg/kg	0.5を超える	<0.10	○	
鉛	%	0.06を超える	0.15	×	
六価クロム	%	1を超える	<0.01	○	

黒滝橋3号 損傷調査・補修設計一覧表

部材名称	損 傷				補修設計		備 考
	種 類	有無	判定区分 点検 今回	損傷の状態・原因	設計	対策工	
上部工 主桁・横桁 (鋼部材)	鋼材腐食、防食機能の劣化	○	III	III	塗膜劣化による鋼材腐食	○ 塗替え塗装工	支承部含む
	鋼材腐食(板減あり)	○			塗膜劣化による鋼材腐食	○ 塗替え塗装工	支承部含む
	亀裂、破断	—					
	鋼板のうき	—					
	ゆるみ、脱落	—					
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ						
	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
	ひびわれ	○					
上部工 床 版 (コン部材)	ひびわれ	○	III	III	鉄筋のかぶり不足	○ ひびわれ補修工	
	漏水・遊離石灰	○			鉄筋のかぶり不足	○ ひびわれ補修工	
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			鉄筋のかぶり不足	○ 断面修復工	
	豆板、欠損	—					
	ひびわれ	○					
下部工	遊離石灰	○	II	II	鉄筋のかぶり不足	○ ひびわれ補修工	
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			鉄筋のかぶり不足	○ 断面修復工	
	豆板、欠損	○			不明	○ 断面修復工	
	洗掘	—					
	腐食、防食機能の劣化	○			伸縮装置からの漏水	○ 塗替え塗装工	
支 承 工	機能障害	—	II	II			
	A 〆 舗装のひび割れ、欠損	○			経年劣化	○ 橋面補修工	
	C 〆 舗装のひび割れ、欠損	—					
	路面の凹凸	○			経年劣化	○ 橋面補修工	
	地震の損傷	○			凍害	○ 断面修復工	
橋 面 工	伸縮装置の損傷、機能不足	○	II	II	経年劣化	○ 伸縮装置取替工	
	腐食、欠損	○			不明	○ 排水管取替工	
	機能不足、滞水	—					
	変形・欠損	○			不明	×	
	腐食・塗装劣化	○			経年劣化	×	
高欄工 (鋼部材)	ボルトの緩み、脱落	—	I ~ II	I ~ II			
	ひびわれ						
	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
高欄工 (コン部材)	ひびわれ						
	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
	圧縮強度				○ 下表参照		
コンクリート 試験結果	中性化深度測定				○ 下表参照		
	塩化物含有量試験				○ 下表参照		

既設橋 設計条件(推定)

橋 種	道路橋
橋 長	L=9.54m
幅 員	車道幅員 W=4.00m
	歩道幅員 -
	合 計 W=4.00m
上 部 構 造	H形鋼
下 部 構 造	A1橋台 逆T式橋台
	A2橋台 逆T式橋台
設 計 荷 重	不明
平 面 線 形	θ=90°
補修・補強履歴	不明
架 設 年 次	不明
適用示方書	不明

い の 町

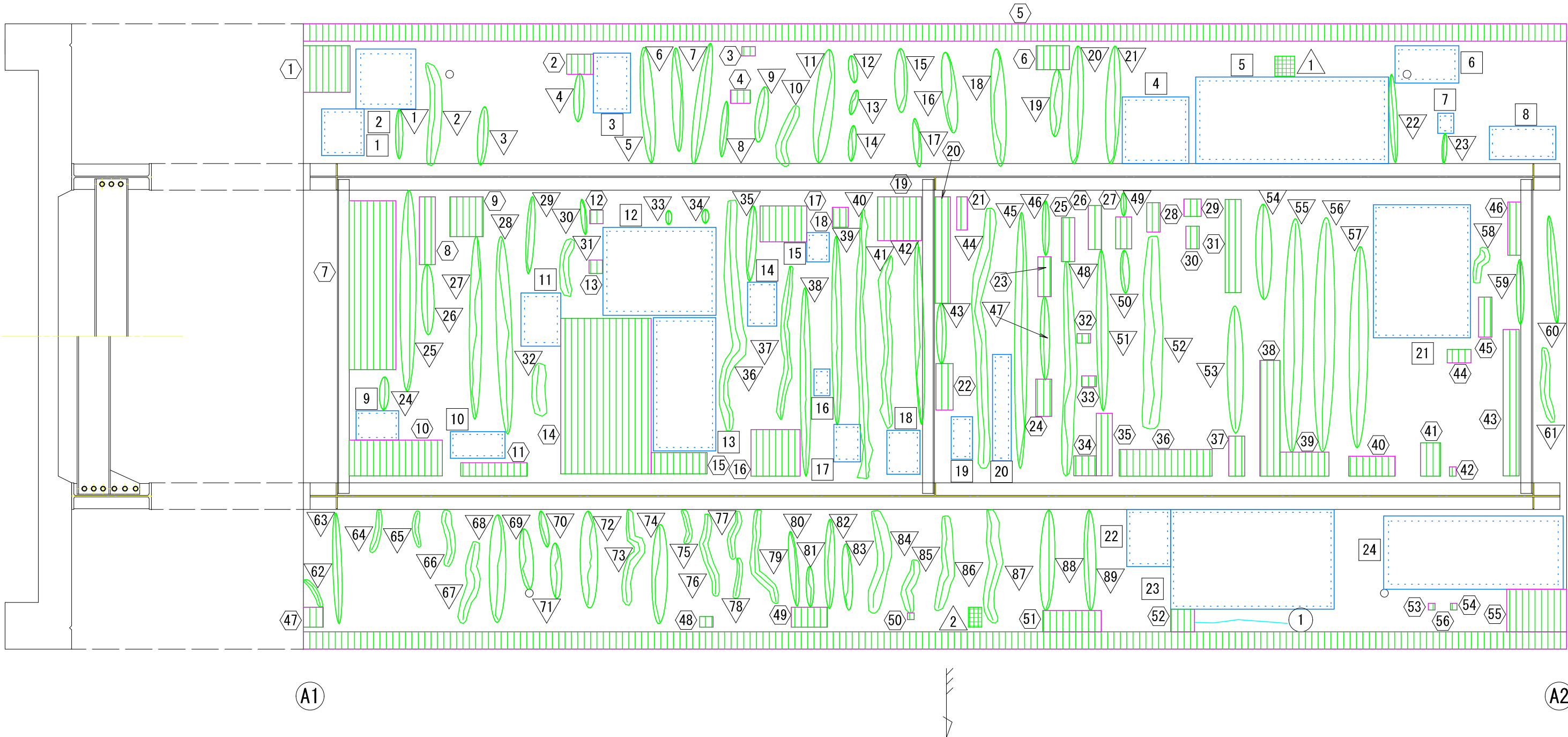
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事		
図 面 名 称	橋梁補修工一般図	縮 尺	図 示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)		
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川		
設計種別		図 面 番 号	3 11
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		

コンクリート補修工詳細図(その1)

黒滝橋3号（町道瓶ヶ森線）

平面図

S=1:30



数量表

上部工

▽ ひびわれ

損傷：遊離石灰

対策工：ひびわれ充填工

番号	L (mm)	番号	L (mm)	番号	L (mm)
1	350	31	410	61	530
2	750	32	350	62	230
3	400	33	100	63	810
4	350	34	100	64	300
5	850	35	550	65	250
6	750	36	1750	66	400
7	900	37	1150	67	600
8	400	38	1400	68	800
9	380	39	1400	69	450
10	450	40	2000	70	250
11	850	41	1270	71	400
12	200	42	1330	72	720
13	180	43	440	73	750
14	250	44	1930	74	720
15	450	45	1890	75	250
16	600	46	400	76	620
17	320	47	600	77	350
18	850	48	1600	78	280
19	500	49	160	79	750
20	880	50	300	80	540
21	880	51	1200	81	300
22	650	52	1400	82	650
23	220	53	900	83	450
24	240	54	700	84	740
25	1500	55	1700	85	400
26	500	56	1700	86	700
27	1340	57	1500	87	850
28	1450	58	260	88	750
29	540	59	460	89	750
30	250	60	800	合計	63570

○ ひびわれ

損傷：鉄筋露出

対策工：断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)	番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	350	350	0.123	29	130	130	0.017
2	200	150	0.030	30	100	170	0.017
3	100	70	0.007	31	120	700	0.084
4	150	100	0.015	32	100	70	0.007
5	9500	130	1.235	33	110	80	0.009
6	250	180	0.045	34	170	150	0.026
7	350	1270	0.445	35	120	470	0.056
8	120	510	0.061	36	700	200	0.140
9	250	300	0.075	37	120	370	0.044
10	700	270	0.189	38	150	870	0.131
11	500	100	0.050	39	370	180	0.067
12	100	100	0.010	40	350	150	0.053
13	100	100	0.010	41	150	250	0.038
14	680	1170	0.796	42	50	70	0.004
15	420	160	0.067	43	120	1100	0.132
16	370	350	0.130	44	180	100	0.018
17	350	270	0.095	45	100	300	0.030
18	120	150	0.018	46	100	400	0.040
19	330	330	0.109	47	150	150	0.023
20	120	800	0.096	48	100	80	0.008
21	80	250	0.020	49	270	150	0.041
22	130	350	0.046	50	50	50	0.003
23	100	300	0.030	51	440	160	0.070
24	180	280	0.050	52	180	170	0.031
25	100	330	0.033	53	50	50	0.003
26	100	330	0.033	54	50	50	0.003
27	120	240	0.029	55	450	320	0.144
28	100	220	0.022	56	9500	130	1.235
合計			6.34				

○ ひびわれ

損傷：ひびわれ (W=0.2mm以上)

対策工：ひびわれ注入工

番号	W (mm)	L (mm)
1	0.25	700
合計		700

△ ひびわれ

損傷：うき

対策工：断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	150	150	0.023
2	100	150	0.015
合計			0.04

□ 剥離

損傷：剥離

対策工：断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	320	350	0.112
2	450	450	0.203
3	280	450	0.126
4	500	500	0.250
5	1450	650	0.943
6	480	280	0.134
7	120	150	0.018
8	500	250	0.125
9	320	220	0.070
10	410	200	0.082
11	300	400	0.120
12	850	660	0.561
13	470	1000	0.470
14	220	330	0.073
15	170	220	0.037
16	120	200	0.024
17	200	280	0.056
18	250	330	0.083
19	160	320	0.051
20	140	800	0.112
21	730	1000	0.730
22	330	430	0.142
23	1230	750	0.923
24	1350	550	0.743
合計			6.19

ひびわれ注入工

S=1:5

損傷：ひびわれ幅 W=0.2mm以上 1.0mm未満

ひびわれ充填工

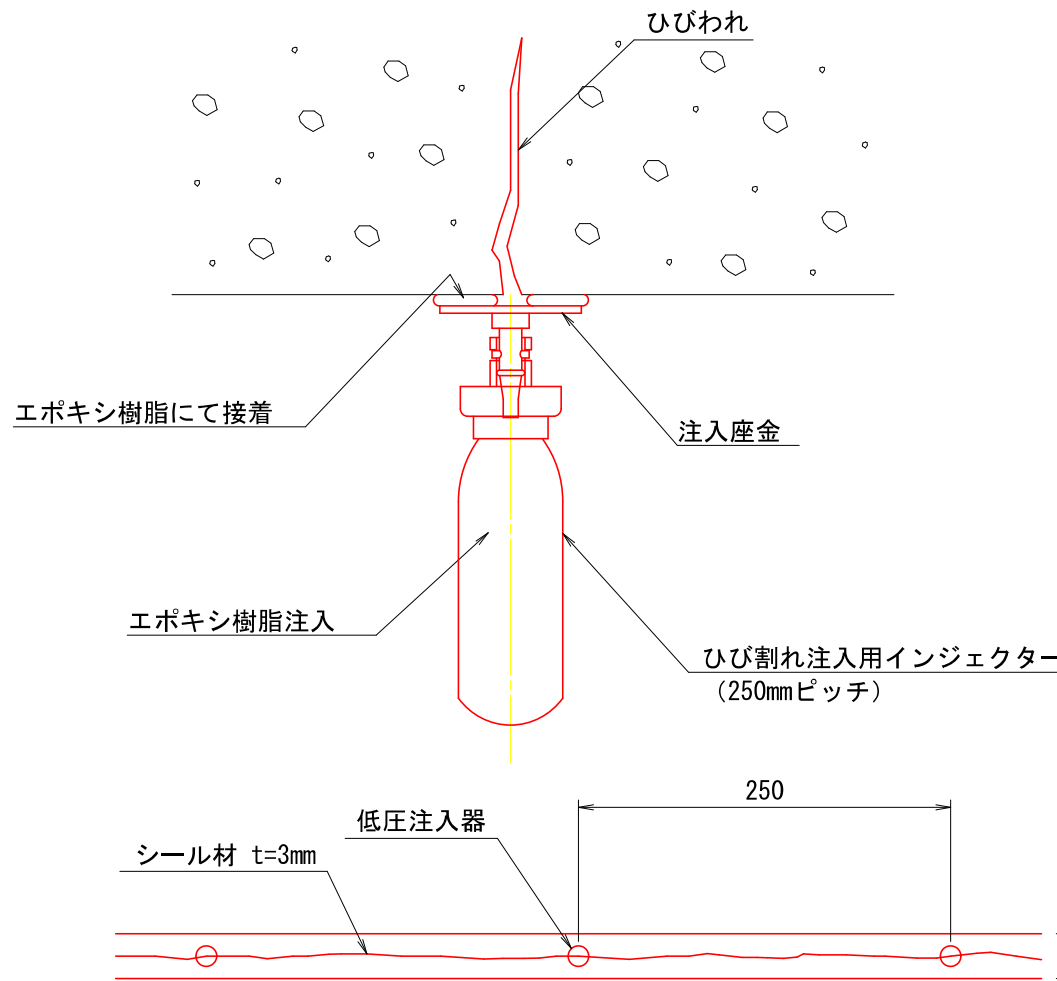
S=1:5

損傷：遊離石灰、ひびわれ幅 W=1.0mm以上

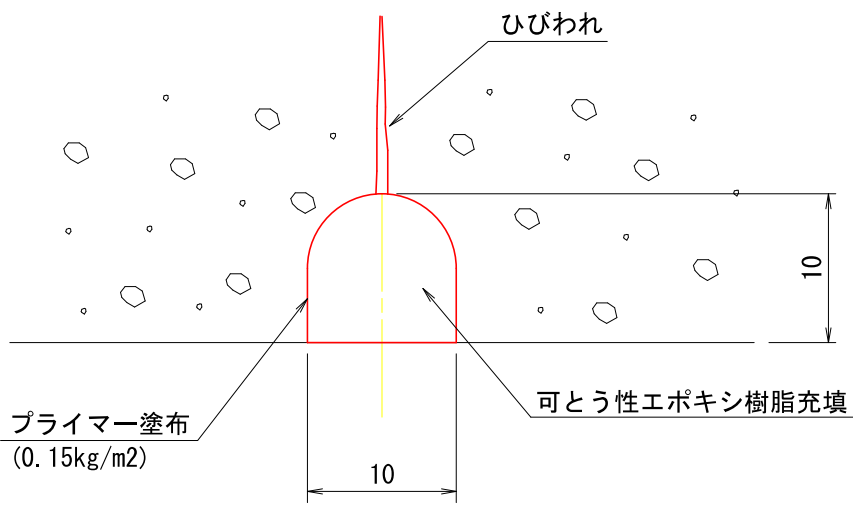
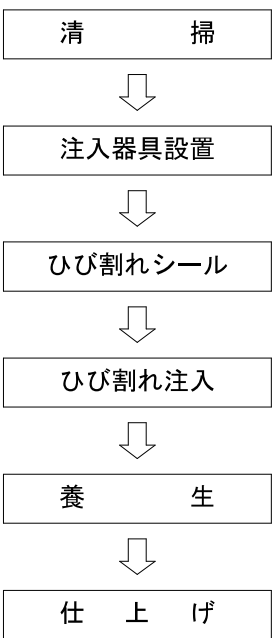
断面修復工(左官工法)

S=1:3

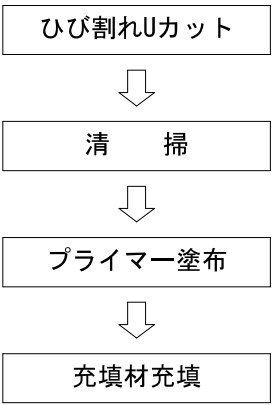
損傷：剥離、鉄筋露出、浮き、欠損



ひび割れ注入工施工フロー



ひび割れ充填工施工フロー



ひび割れ充填工(可とう性エポキシ樹脂)

100m当り

名称	規格	単位	数量	備考
プライマー	エポキシ樹脂系	kg	0.5	0.010×3×100×0.15×1.20
充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	15.6	0.010×0.010×100×1300×1.20

注記)

- ・上表は、幅10mm深さ10mmの数量を示す。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

ひび割れ注入工(エポキシ樹脂低圧注入)

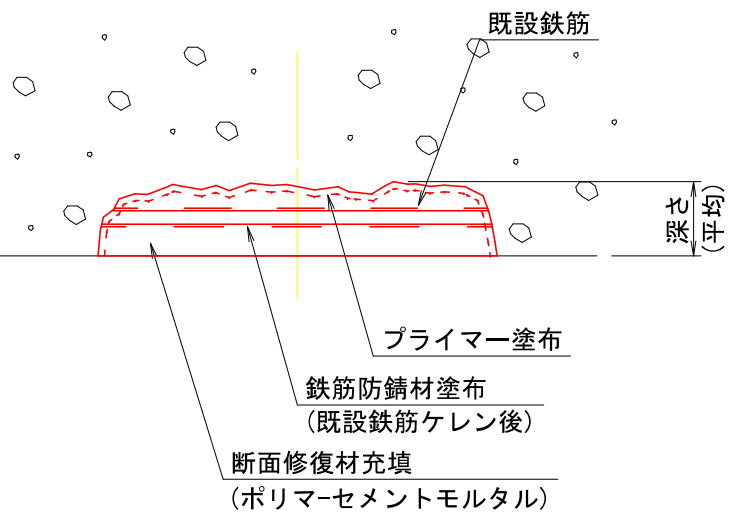
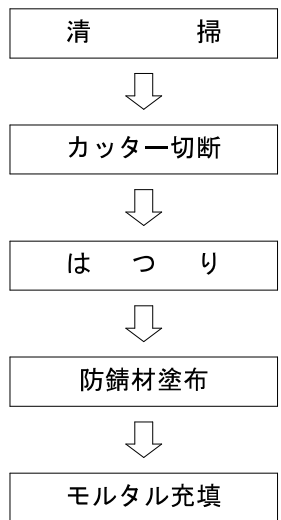
100m当り

名称	規格	単位	数量	備考
低圧注入器	25cm間隔(低圧注入)	個	400	4本×100m
シール材	ポリエステル系	kg	21.0	0.003×0.03×100×1700×1.37
注入材	エポキシ樹脂	kg	1.3	0.0002×0.05×100×1150×1.15

注記)

- ・上表は、幅0.2mm深さ50mmの数量を示す。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。
- ・幅0.2mm未満のひび割れは、銅材腐食による耐久性の低下が小さいと判断できるため、未補修で存置させる。

断面修復工施工フロー



断面修復工(深さt=50mm)

10m2当り

名称	単位	数量	備考
ポリマーセメント系モルタル	m3	0.59	10×0.050×1.18

注記)

- ・上表は、深さ50mmの数量を示す。
- ・断面修復工の深さは鉄筋探査の結果より設定している。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

注記)

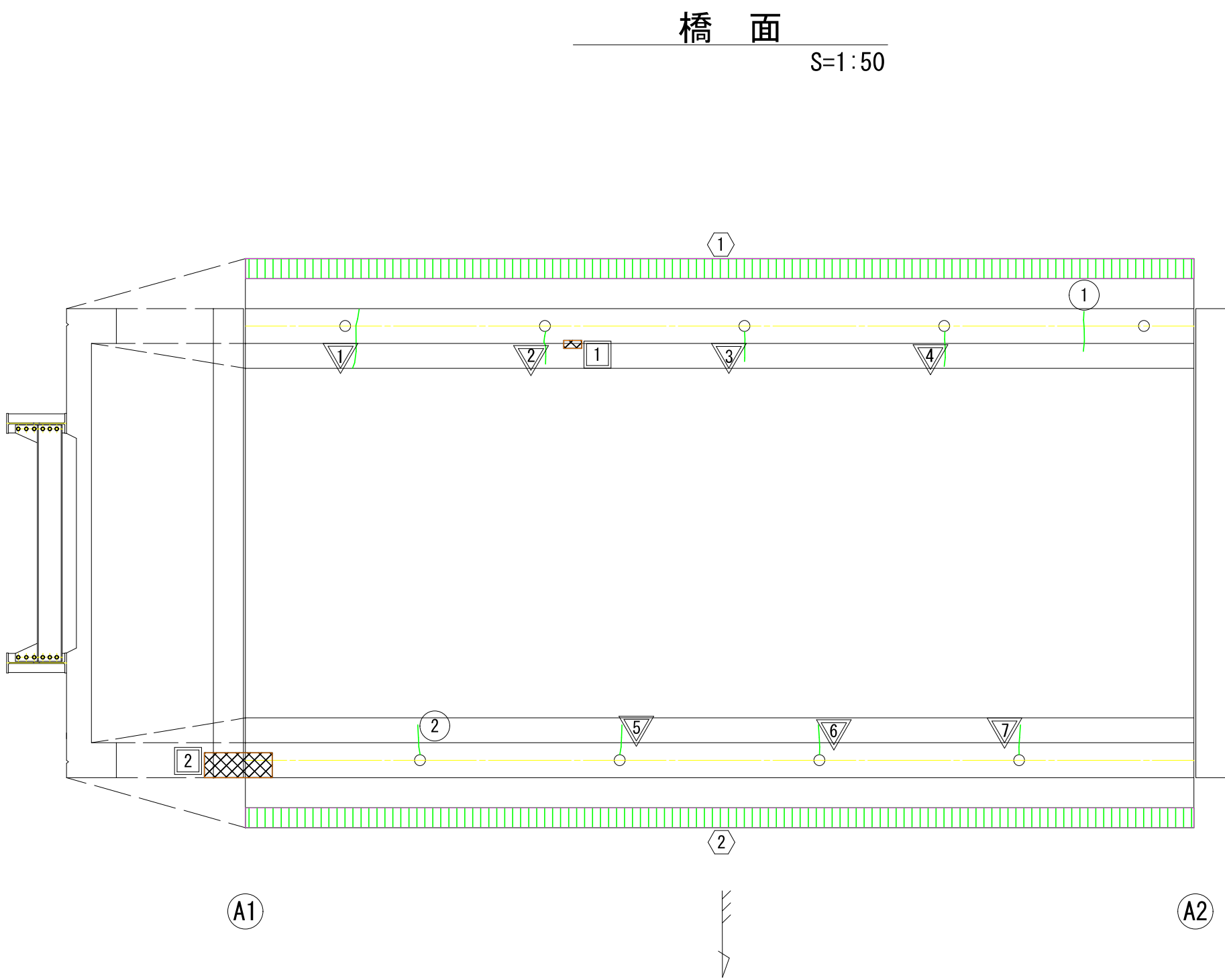
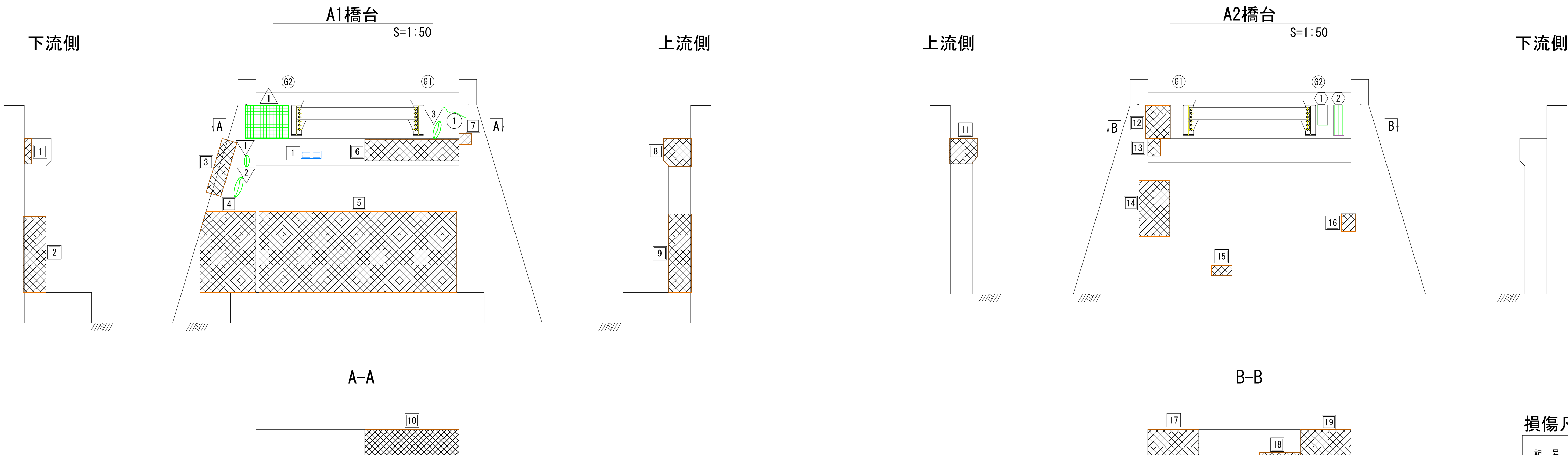
- ・地覆側面の鉄筋露出(1,2)は損傷範囲が側面全域に達していることから、ポリマーセメントモルタルではなく、通常のコンクリートにて断面修復工を行う。
- ・橋座面の欠損は凍害による表面的な損傷であると推定されるが、現地確認により、支床面下まで凍害が進行していると判断される場合は、支保工を設置のうえ補修工事を実施すること。

いの町

工事名	6道メ工第374号 令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事	縮尺	図示
図面名称	コンクリート補修工詳細図(その1)		
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)		
工事箇所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬		
設計種別			
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課	図面番号	4-11

コンクリート補修工詳細図(その2)

黒滝橋3号（町道瓶ヶ森線）



数量表
下部工

△ ひびわれ
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	850	650	0.553
合計			0.55

○ 鉄筋露出
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	200	400	0.080
2	200	600	0.120
合計			0.20

○ ひびわれ (W=0.2mm以上)
対策工: ひびわれ注入工

番号	W (mm)	L (mm)
1	0.50	550
合計		550

▽ 遊離石灰
対策工: ひびわれ充填工

番号	L (mm)
1	200
2	400
3	350
合計	950

□ 欠損
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	150	500	0.075
2	450	1500	0.675
3	1100	300	0.330
4	1100	1600	1.760
5	3900	1600	6.240
6	1850	420	0.777
7	250	220	0.055
8	550	550	0.303
9	450	1550	0.698
10	1850	500	0.925
11	550	500	0.275
12	480	650	0.312
13	250	350	0.088
14	600	1100	0.660
15	400	200	0.080
16	280	350	0.098
17	1000	500	0.500
18	800	50	0.040
19	1000	500	0.500
合計			14.40

□ 剥離
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	400	150	0.600
合計			0.600

数量表
橋面

○ ひびわれ (W=0.2mm以上)
対策工: ひびわれ注入工

番号	W (mm)	L (mm)
1	0.50	400
2	0.70	300
合計		700

▽ ひびわれ (W=1.0mm以上)
対策工: ひびわれ充填工

番号	W (mm)	L (mm)
1	2.00	600
2	3.00	330
3	1.50	300
4	1.00	350
5	1.00	300
6	1.50	300
7	1.00	300
合計		2480

□ 欠損
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	180	80	0.014
2	680	250	0.170
合計			0.18

○ 鉄筋露出
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	200	9500	1.900
2	200	9500	1.900
合計			3.80

損傷凡例(コンクリート)

記号	番号	損傷			補修対象
		状態	有無	作図	
◇	1	ひびわれ (W<0.2mm)			
○	2	ひびわれ (0.2mm≦W<1.0mm)	○	○	○
▽	3	ひびわれ (1.0mm≦W)	○	○	○
△	4	遊離石灰	○	○	○
△	5	漏水			
□	6	剥離	○	○	○
○	7	鉄筋露出	○	○	○
◇	8	浮き	○	○	○
◇	9	豆板			
□	10	欠損	○	○	○
▽	11	洗掘			

・損傷のある場合は「○」を示す。

注記)
・地覆側面の鉄筋露出(1,2)は損傷範囲が側面全域に達していることから、ポリマーセメントモルタルではなく、通常のコンクリートにて断面修復工を行う。
・橋座面の欠損は凍害による表面的な損傷であると推定されるが、現地確認により、支保直下まで凍害が進行していると判断される場合は、支保工を設置のうえ補修工事を実施すること。

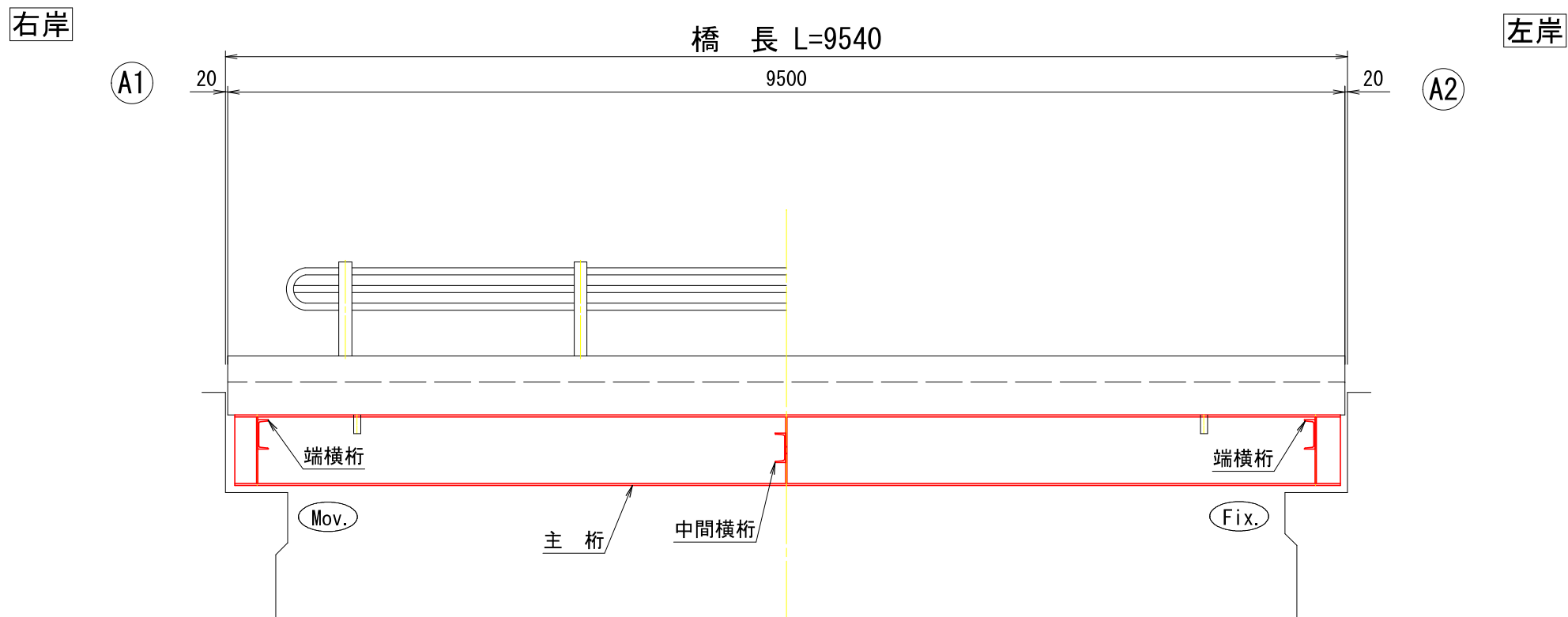
いの町				
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事	縮 尺	図 示	
図 面 名 称	コンクリート補修工詳細図 (その2)			
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬			
設 計 種 別		図 面 番 号	5 / 11	
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課			

塗替え塗装工詳細図

黒滝橋3号

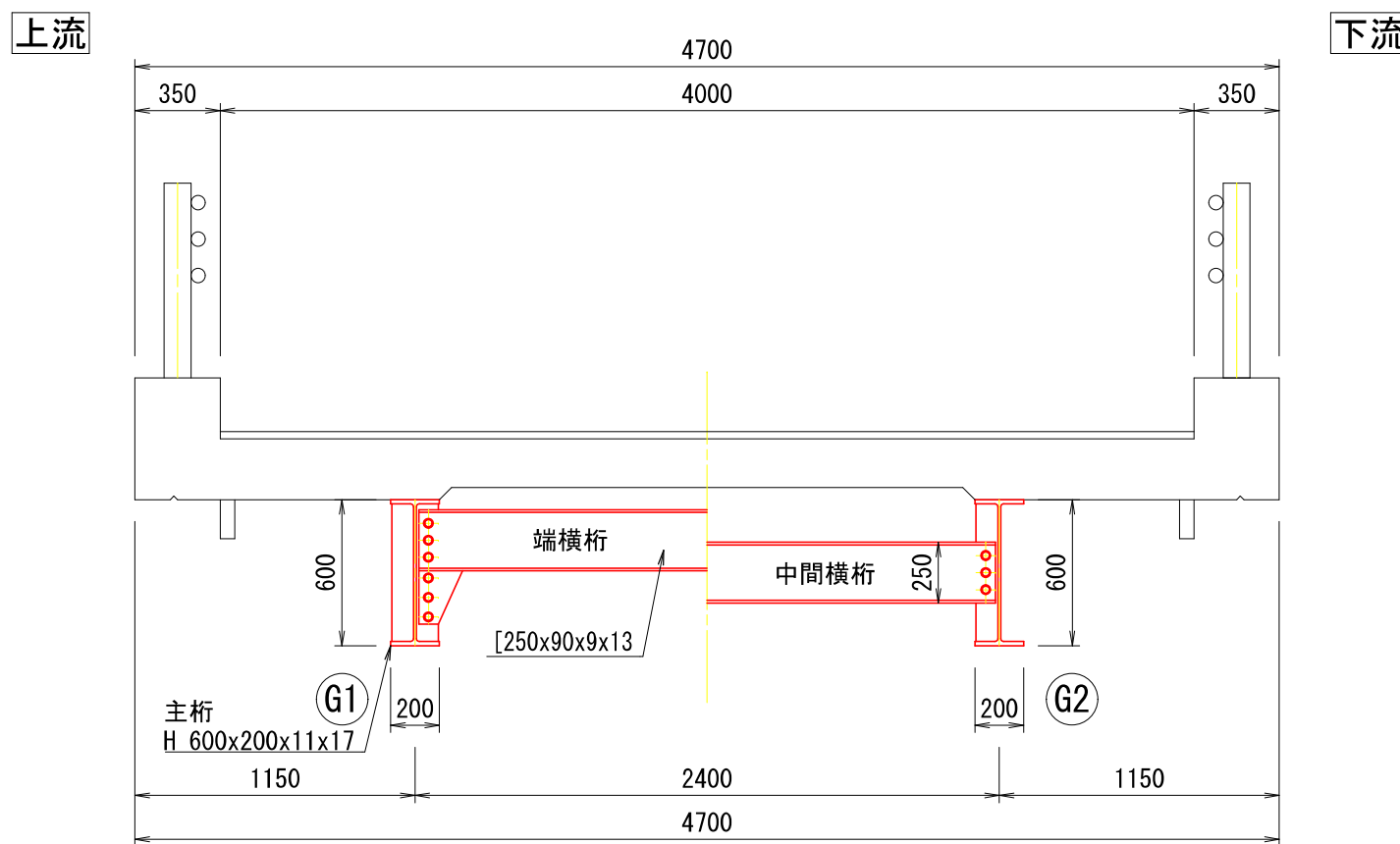
側面図

S=1:50



上部工断面図

S=1:30



支承塗装範囲図

S=1:15

A1側(可動支承)

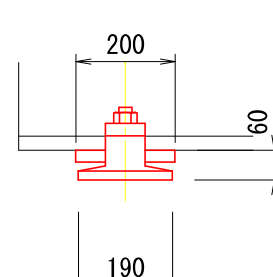
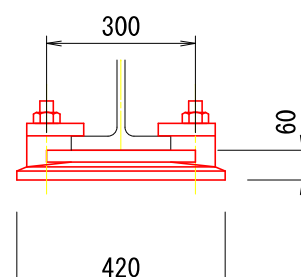
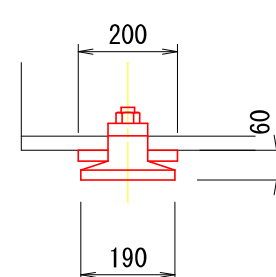
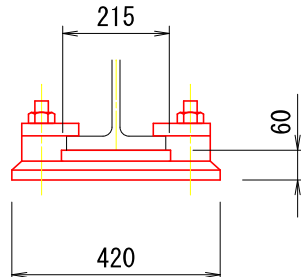
A2側(固定支承)

正面図

側面図

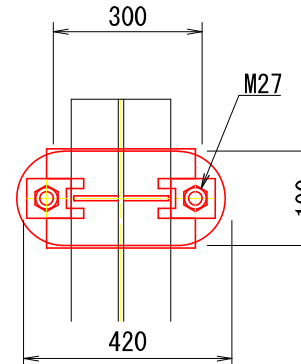
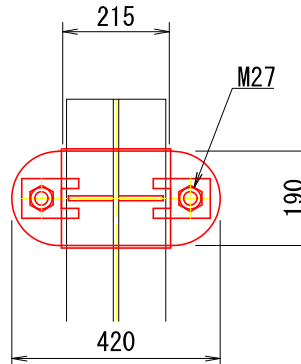
正面図

側面図



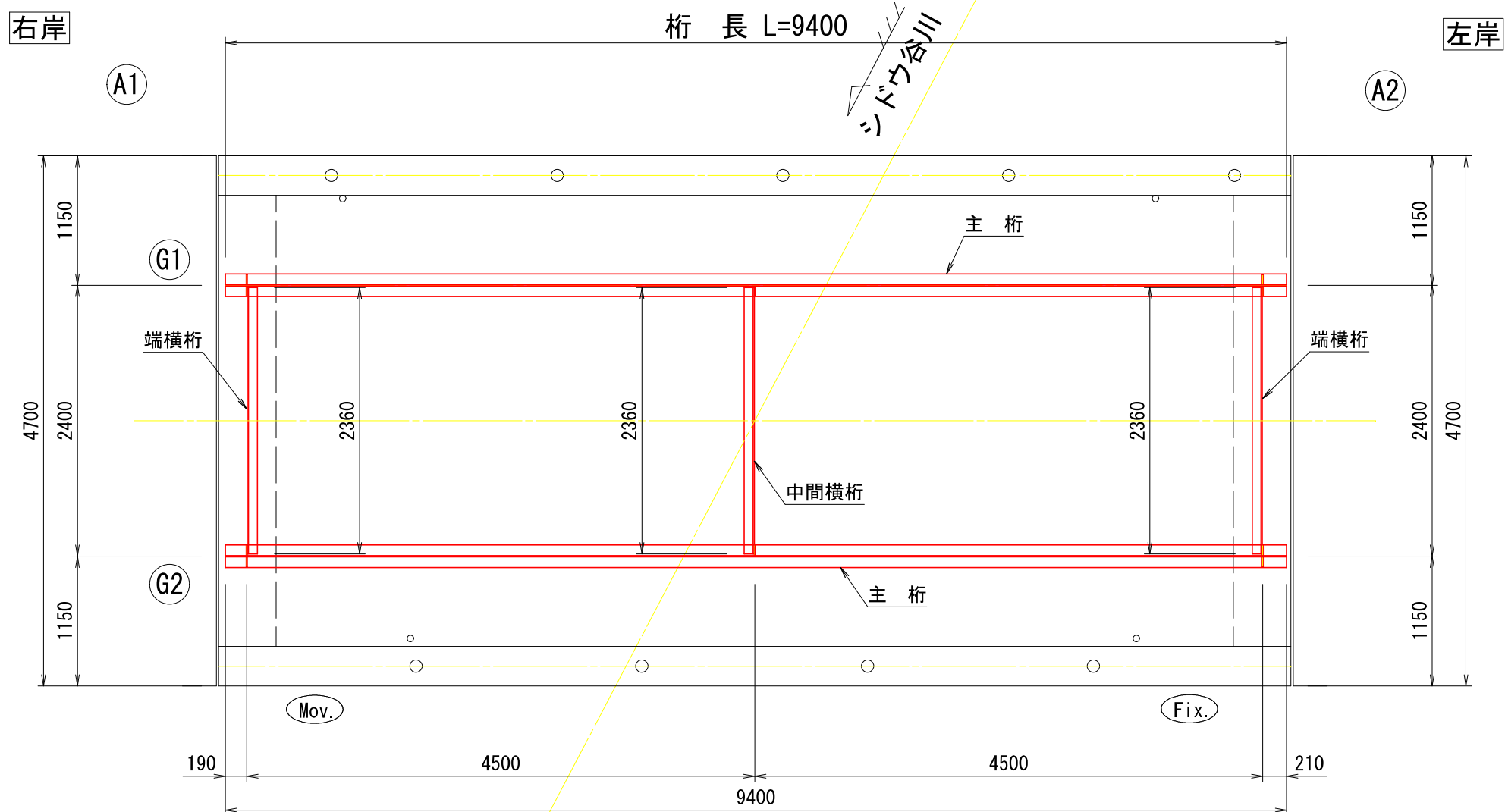
平面図

平面図



平面図

S=1:50



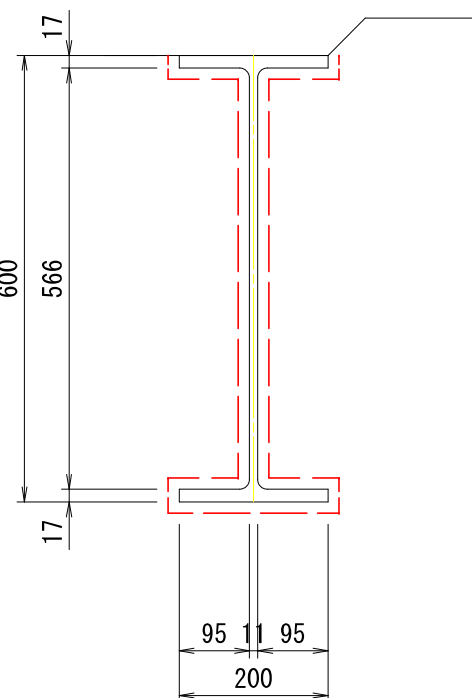
塗装範囲図

S=1:10

主桁

角部：6箇所

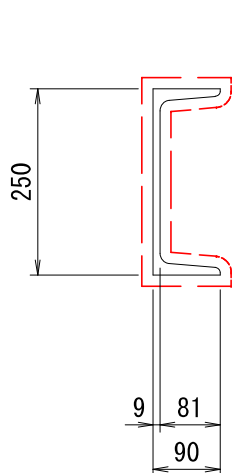
鋼材長 L=9.40m



横桁

角部：4箇所

鋼材長 L=2.36m

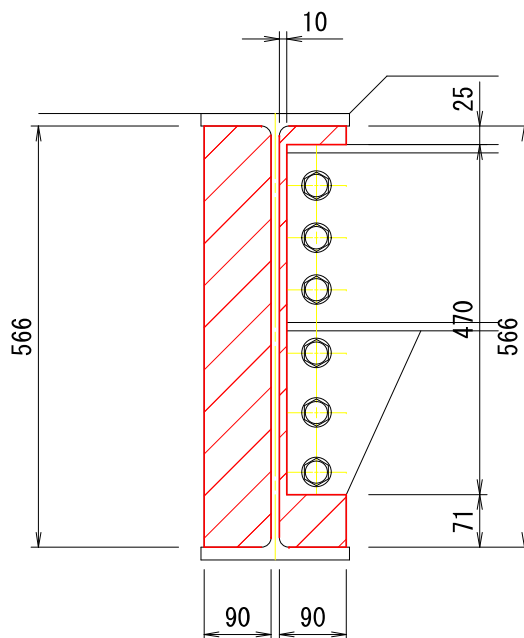
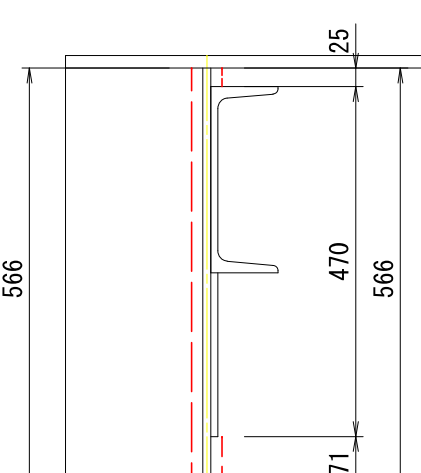


垂直補剛材(端横桁)

角部：4箇所

断面図

正面図

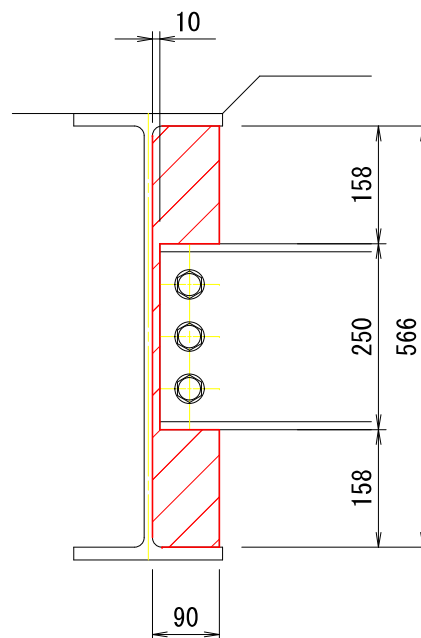
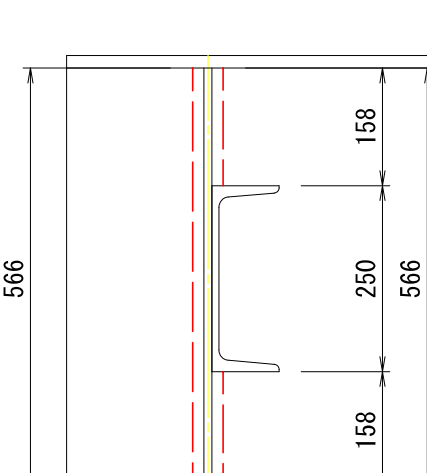


垂直補剛材(中間横桁)

角部：2箇所

断面図

正面図



塗装工仕様

(Rc-I塗装系)

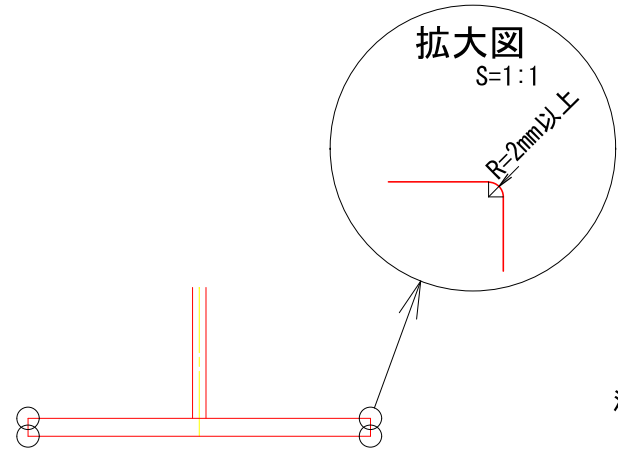
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	1種ケレン	
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140

角部処理

詳細図

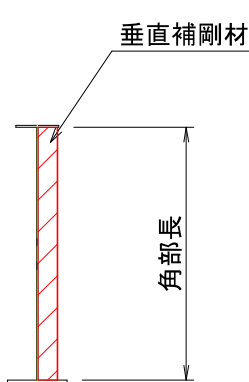
S=1:5

○：角部処理



垂直補剛材の角部長

S=1:20



注記)
・既設橋の鋼材に面取り等角部処理が行われていない場合は、
塗替え塗装前にR=2mm以上の面取りを行う。

注記)
・ は塗装範囲を示す。

いの町

工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事	縮 尺	図 示
図 面 名 称	塗替え塗装工詳細図		
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)		
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬		
設 計 種 別			
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	6 11

黒滝橋3号 塗膜調査結果

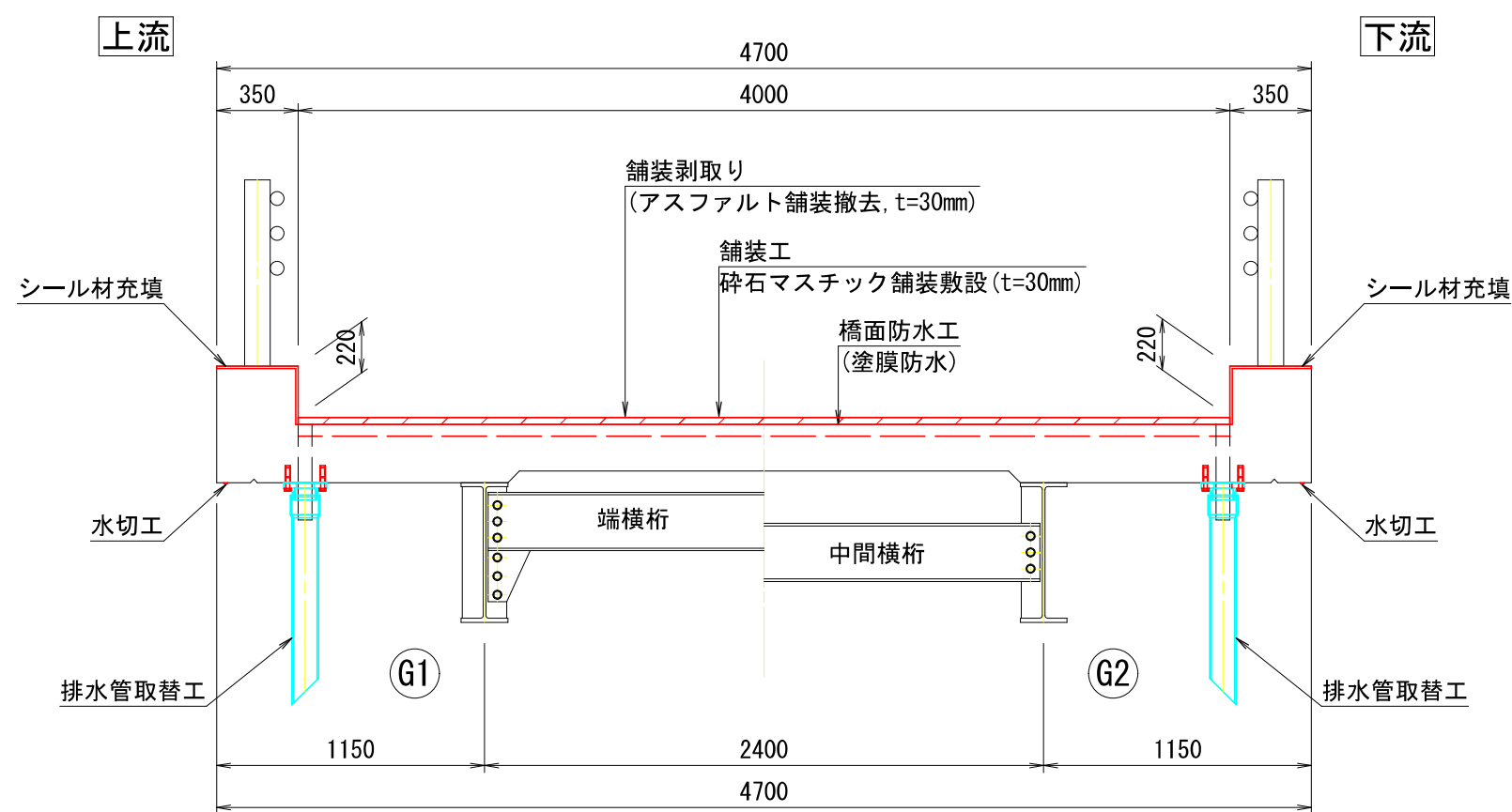
有害物質	単位	判定基準	試験値	判定	備 考
P C B	mg/kg	0.5を超える	<0.10	○	
鉛	%	0.06を超える	0.15	×	
六価クロム	%	1を超える	<0.01	○	

橋面補修工詳細図(その1)

黒滝橋3号

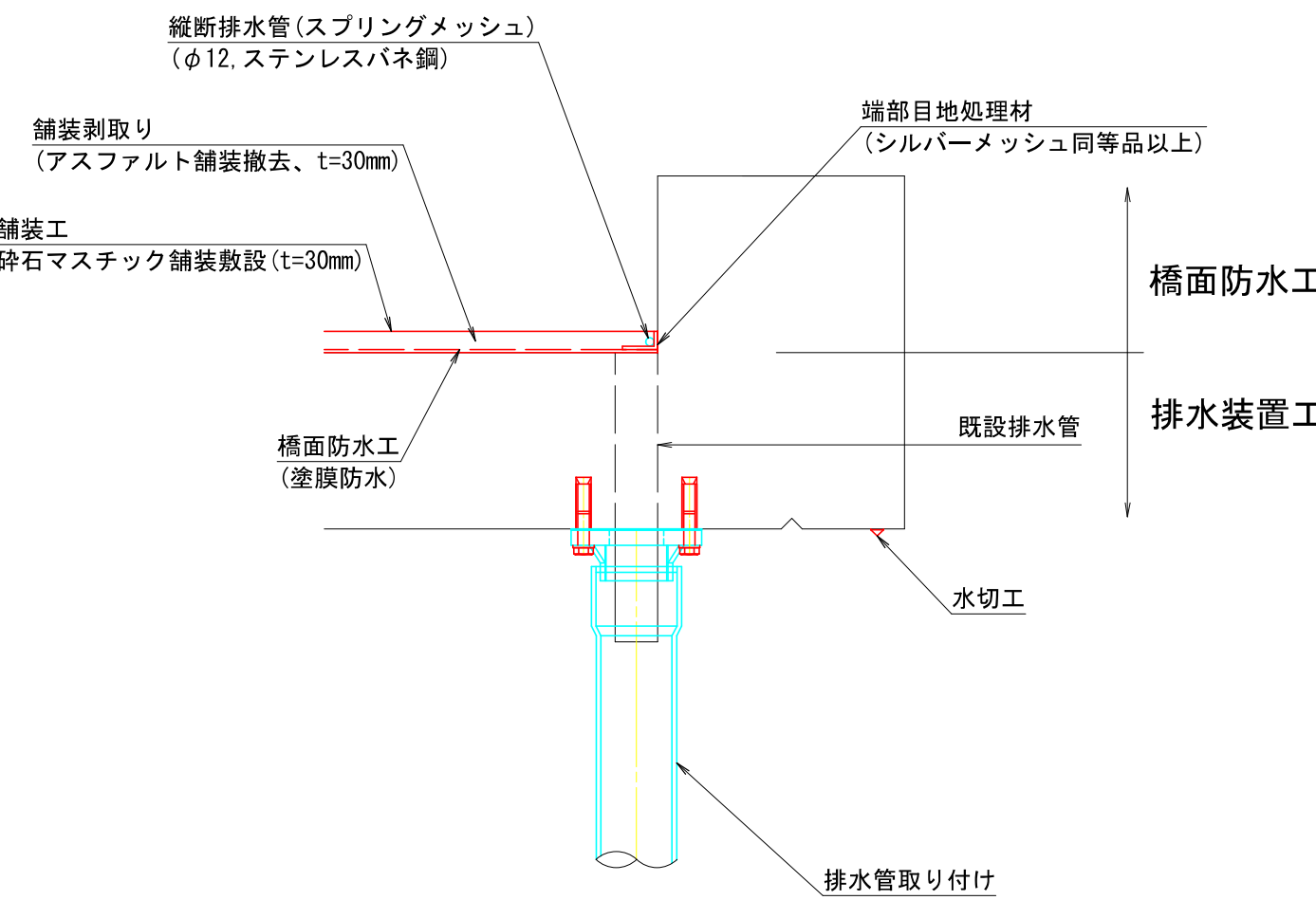
上部工断面図

S=1:30



断面図

S=1:10



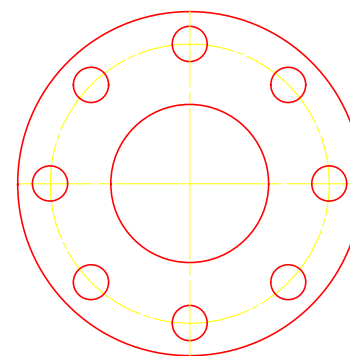
排水管材材料

S=1:4

パッキン

1-全面パッキン

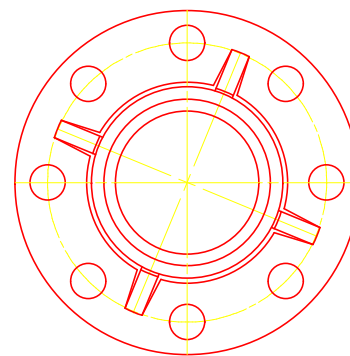
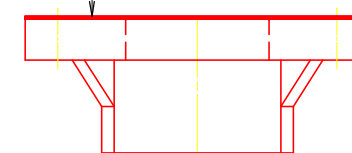
詳細図



1-TSフランジ(JIS10K, HI, 呼び径100)

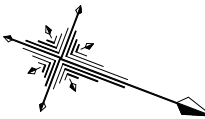
詳細図

全面パッキン



平面図

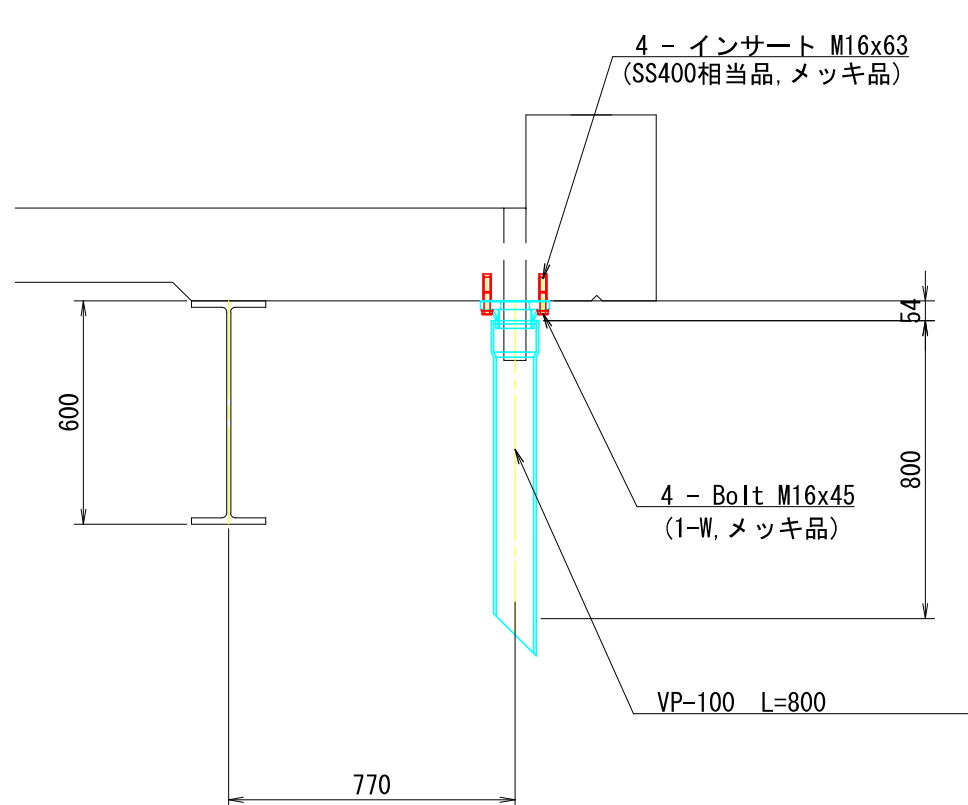
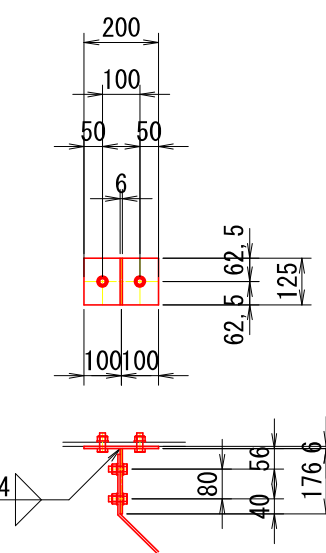
S=1:50



排水管取付詳細図

S=1:20

主桁取付金具



排水管1基当たり数量

TSフランジ

1 - TSフランジ(呼び径100)

1 - 全面ゴムパッキン

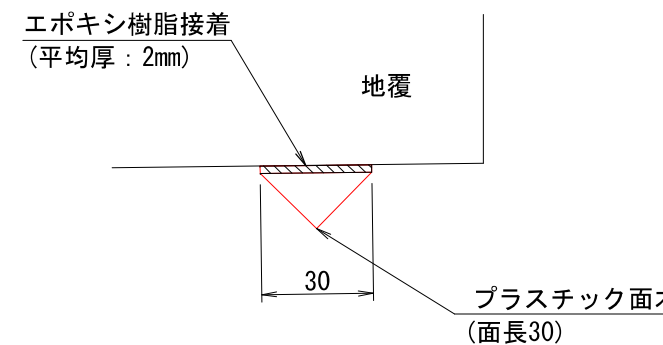
4 - インサートアンカー M16x63 (SS400相当品, メッキ品)

4 - Bolt M16x45 (1-W, メッキ品)

1 - VP-100 L=800

水切工

S=1:2



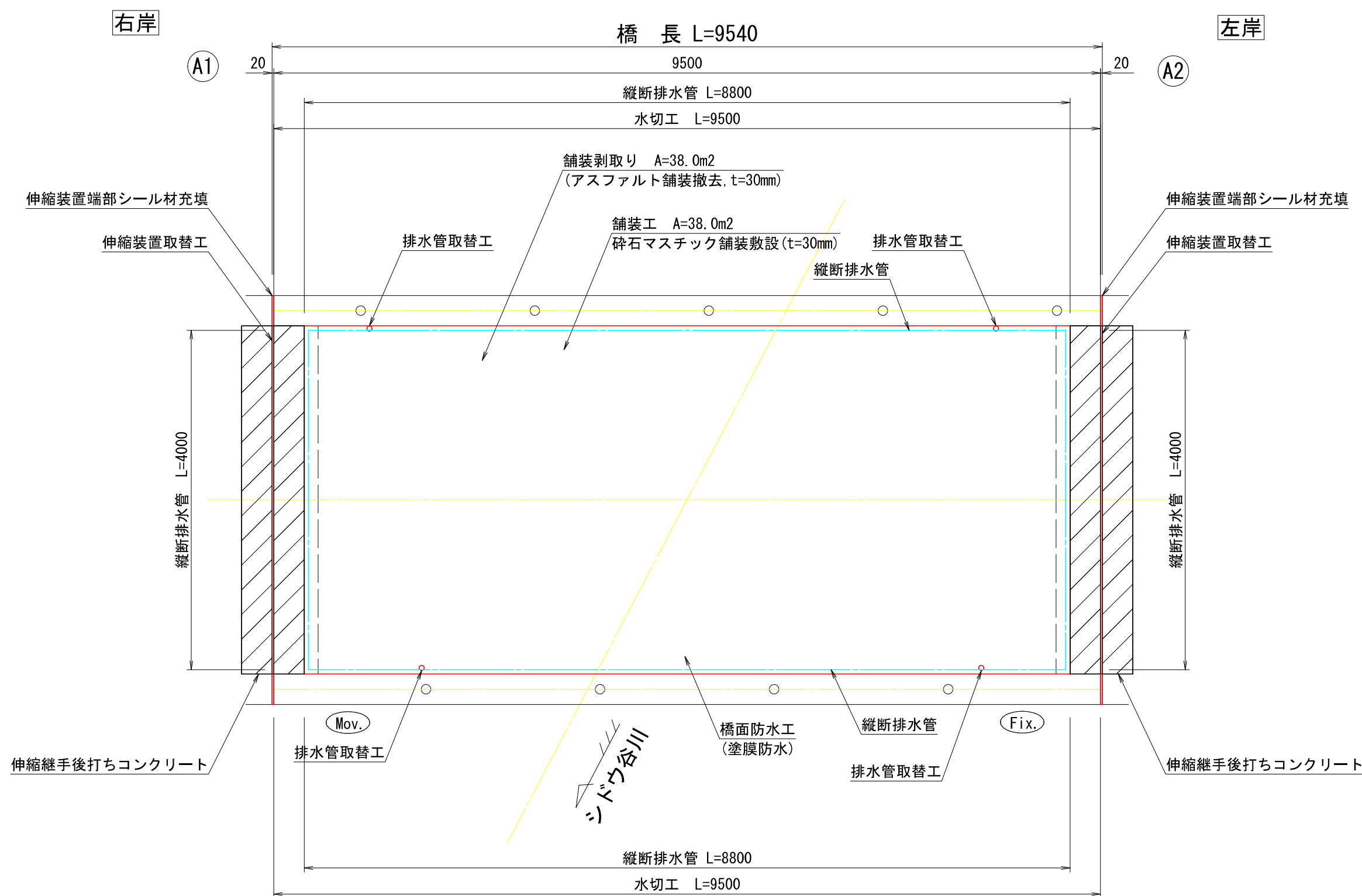
水切工施工フロー

下地処理



プラスチック面木接着

注記)
・本図ではプラスチック面木としている。
・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。



いの町

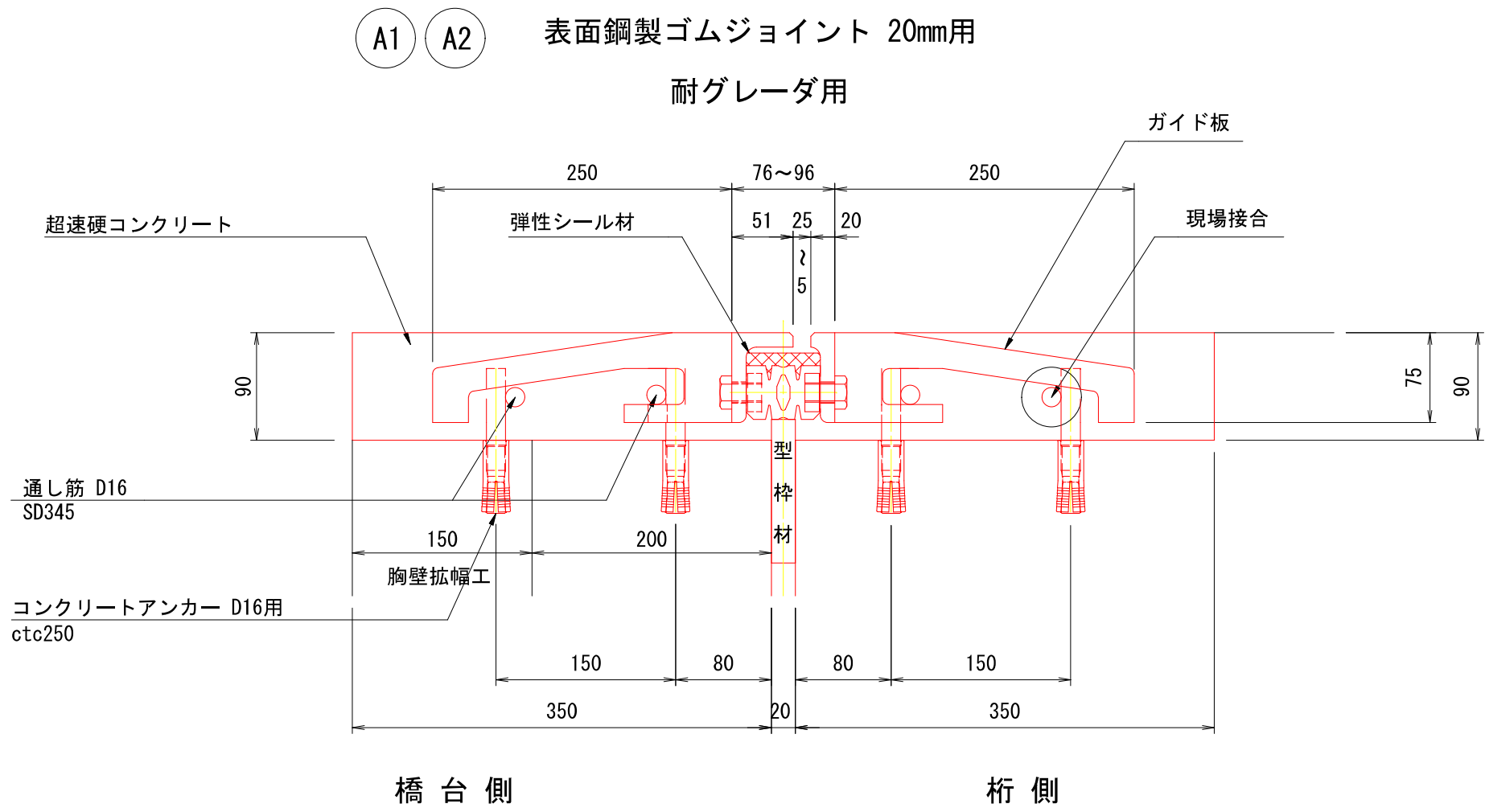
工事名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事	図面名称	橋面補修工詳細図(その1)	縮尺	図示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)	工事箇所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬	設計種別	
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課	図面番号	7		11

橋面補修工詳細図（その2）

黒滝橋3号

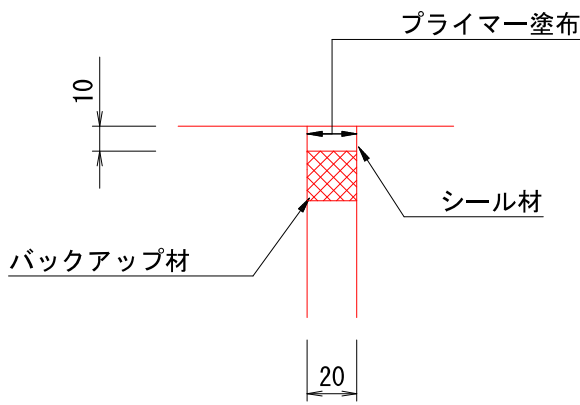
伸縮装置工

S=1:5



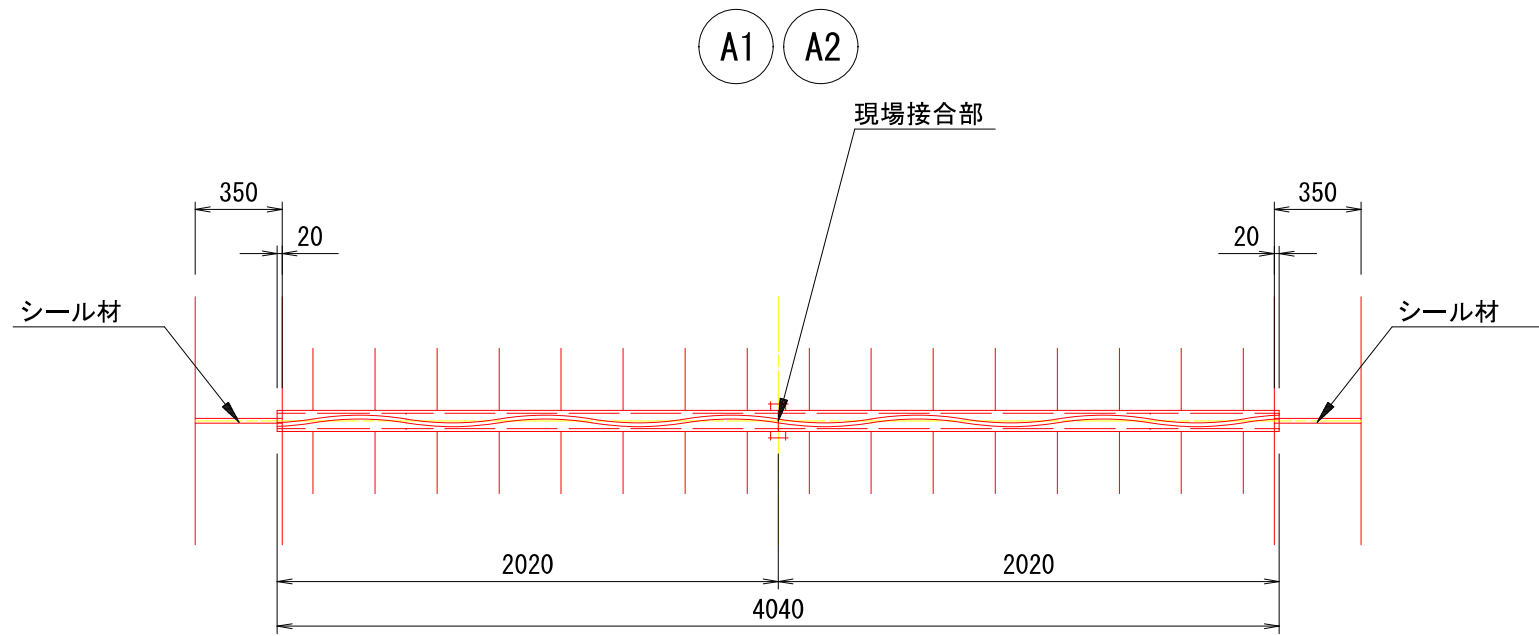
シール材充填図

S=1:3

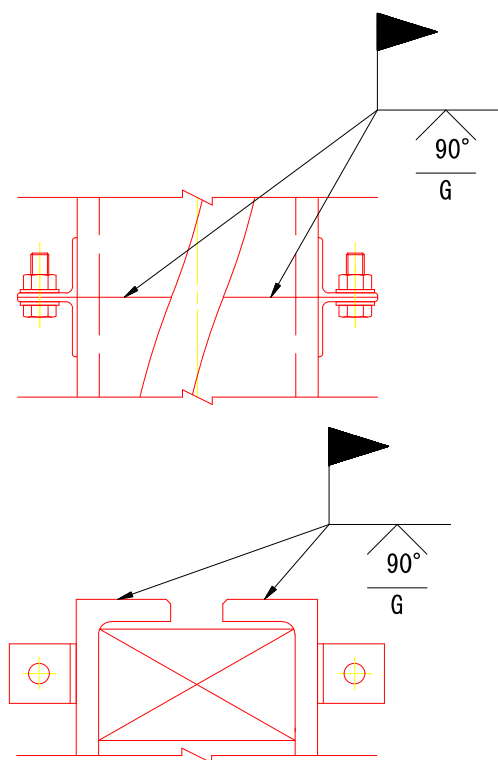


伸縮装置平面図

S=1:30



現場接合部詳細図



※ 現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

伸縮継手材料表

名 称	材 質	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	備 考
表面鋼製ゴムジョイント 20mm用	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	4.040 m	4.040 m	8.080 m	車道用、耐グレーダ用
シール材	シリコン系	0.14 リッター	0.14 リッター	0.28 リッター	地覆部
超速硬コンクリート		0.252 m ³	0.252 m ³	0.504 m ³	
通し筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x4000
コンクリートアンカー		64 本	64 本	128 本	D16用
接合部用接着剤		1 式	1 式	2 式	

注) 伸縮継手長さは、現地測量後決定する事。
注) 既設伸縮継手の後打ちコンクリートは、撤去する事。

いの町				
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 6道メ工第374号 黒滝橋3号橋梁補修工事			
図 面 名 称	橋面補修工詳細図(その2)	縮 尺	図 示	
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬			
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課	図面 番号	8	
事務所名			11	

(橋座面施工時)

- ・仮設工の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
- ・河川内での作業は非出水期(11～2月)を基本とし、出水状況について十分に注意する。
- ・環境対策を十分に行うこと。
- ・騒音・振動の低減、水質汚濁の防止、大気汚染や粉塵飛散の防止、悪臭発生の防止
- ・通行に関する安全対策を十分に実施し、一般車両や歩行者の安全を確保すること。
- ・橋座面の補修工事は1橋台毎に行い、施工時は大型車両の通行を制限するとともに、橋面に敷鉄板等の設置を検討すること。

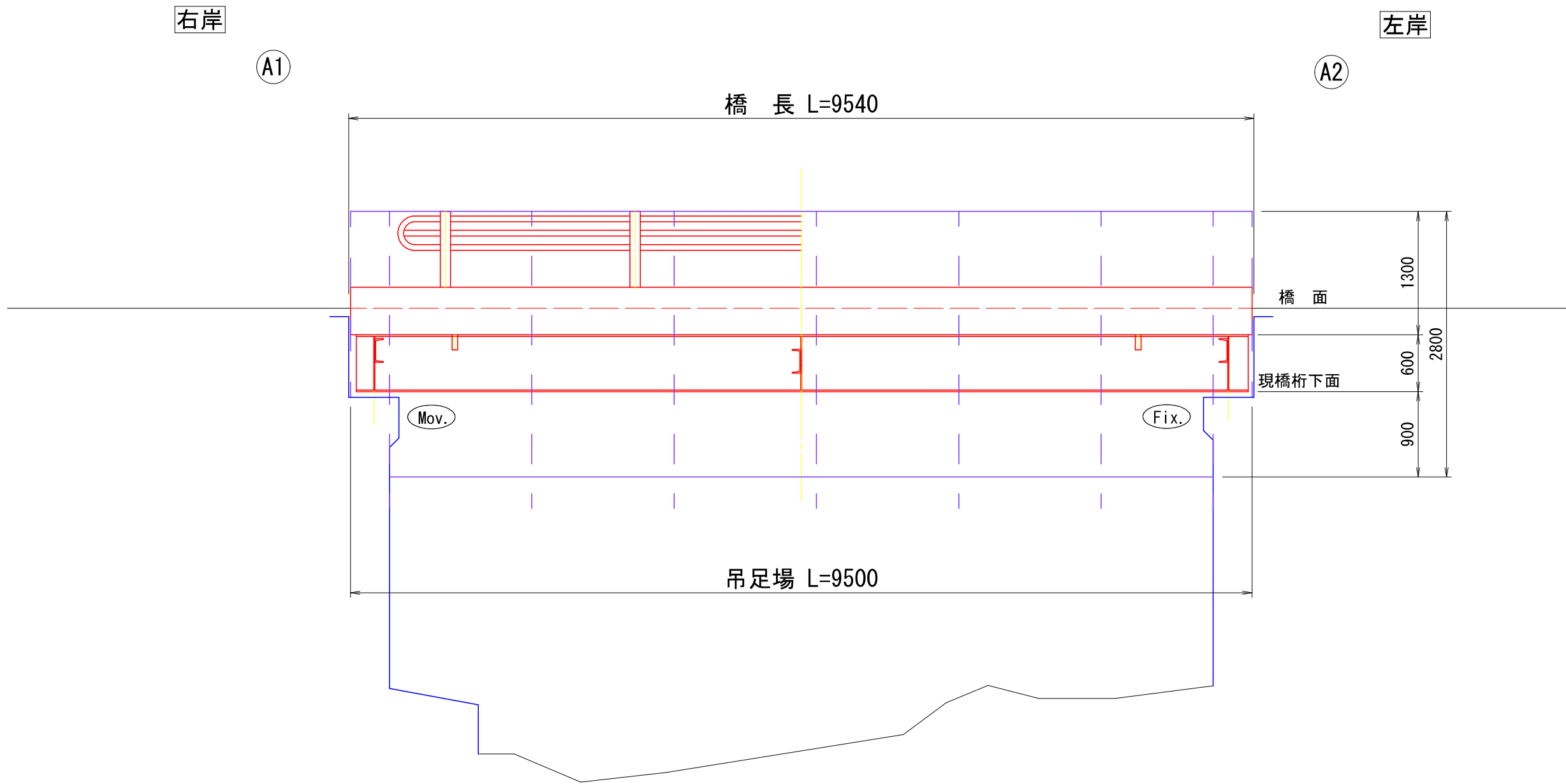
仮設工詳細図（その2）（参考図）

黒滝橋3号

（上部工施工時）

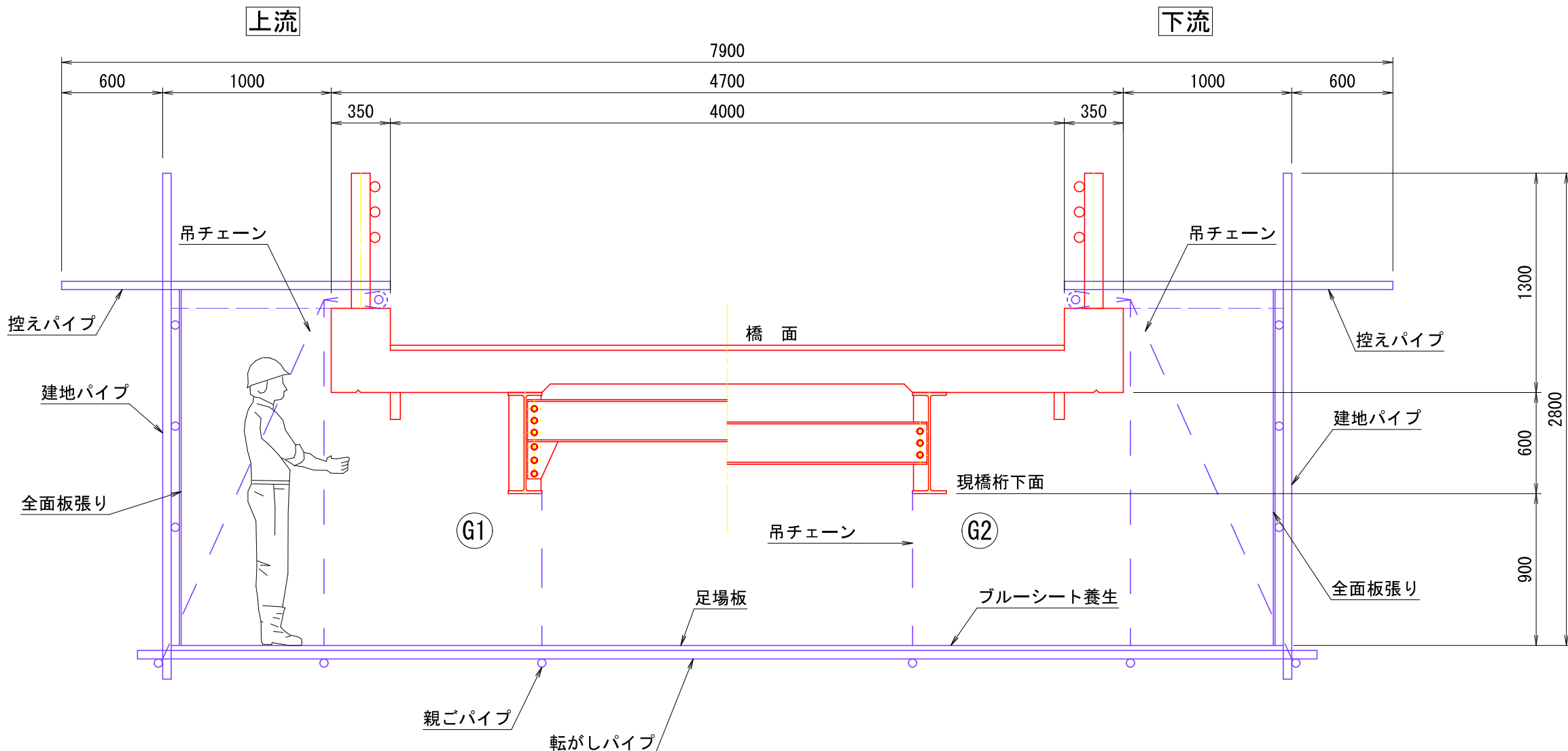
側面図

S=1:50



上部工断面図

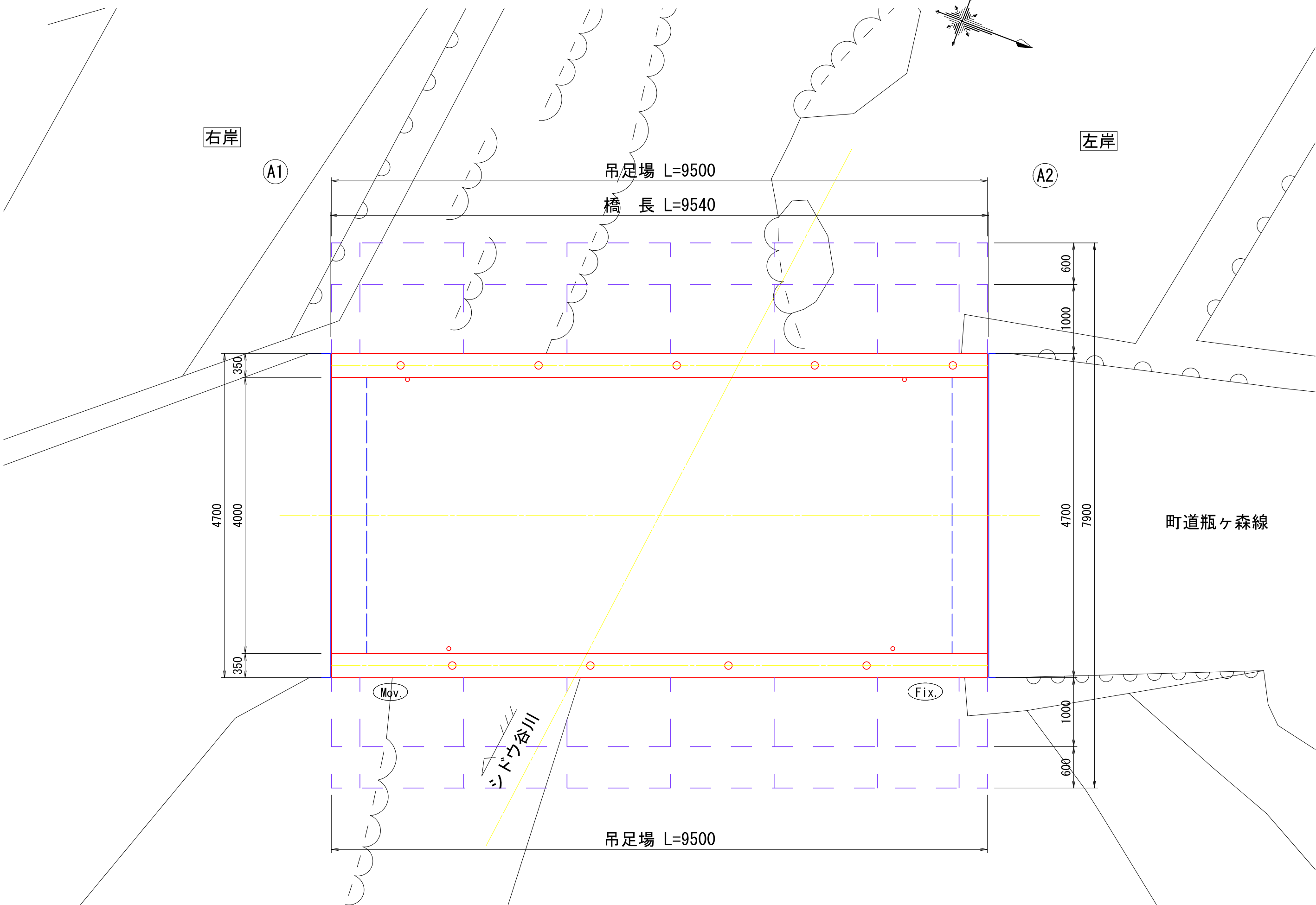
S=1:30



- 注記)
- ・吊足場の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
 - ・吊りチェーンの添荷部材については、施工時に検討すること。

平面図

S=1:50



- [施工に関する注意事項]
- ・仮設工の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
 - ・河川内での作業は非出水期(11～2月)を基本とし、出水状況について十分に注意する。
 - ・環境対策を十分に行うこと。
 - ・騒音・振動の低減、水質汚濁の防止、大気汚染や粉塵飛散の防止、悪臭発生の防止
 - ・通行に関する安全対策を十分に実施し、一般車両や歩行者の安全を確保すること。

いの町				
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 黒滝橋3号橋梁補修工事			
図 面 名 称	仮設工詳細図(その2)	縮 尺	図 示	
路線河川名	町道瓶ヶ森線(黒滝橋3号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 桑瀬			
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課		図 面 番 号	11
事 務 所 名				11